

# 駿河湾における絶滅危惧海産貝類の採集記録 (1975—2000) —相模湾との比較研究—

延原尊美<sup>1</sup>・藤森麻紀<sup>1</sup>・寺田 徹<sup>2</sup>

## Sampling records of threatened marine mollusks in Suruga Bay, central Japan (1975-2000): Comparative study with the adjacent gulf, Sagami Bay

Takami NOBUHARA<sup>1</sup>, Maki FUJIMORI<sup>1</sup> and Tohru TERADA<sup>2</sup>

**Abstract** Sampling records of threatened marine mollusks in Suruga Bay, central Japan were compiled based on the private collection of Tohru Terada, who had collected molluscan shells by beachcombing and caught along with fisheries during November 1975 to March 2000. In this study, a total of 109 species were selected from the red-data marine shells in Sagami Bay, a similar gulf adjacent to Suruga Bay, in order to trace their sampling records. Most of the red-data species living in intertidal or subtidal to 10 m in bathymetrical depth have rarely been recorded in Suruga Bay after 1980's as is the case with Sagami Bay, whereas many species living in deeper zones (–20 m or 50 m) were often found as alive individuals in 1990's. These facts suggest that pollution, reclamation and shoreline protection works have deteriorated the intertidal and subtidal environments of Suruga Bay so that the marine benthic fauna have been severely damaged around there. The environmental changes in Suruga Bay may be critical for the species living in embaymental and tidal land habitats in branch bays, however the severity of the threat of these species cannot be assessed because of data deficiency. Monitoring these species is required for complementing the red data on Suruga Bay.

**Key words:** red list, threatened animals, extinction, conservation, mollusks, Suruga Bay

### はじめに

自然保護や生物多様性の保全に対する関心の高まりを背景に、日本各地で絶滅危惧動植物のリスト(レッドデータブック)が近年、次々と刊行されている。海産貝類については、1993年度より水産庁・日本水産資源保護協会によって希少野生水生生物種についてのとりまとめが行われ(水産庁・日本水産資源保護協会, 1994; 日本水産資源保護協会, 1995, 1996, 1997), 世界自然保護基金日本委員会による干潟生物のレッドデータブック(和田ほか, 1996)の刊行等により、300種以上の貝類がリストアッ

プされるに至った(黒住, 1998)。これら絶滅危惧種の動向は、沿岸環境保全のための重要なアセスメント資料として現在注目されている。また、その多くの種は一般に化石としての産出記録も豊富であり、現在起きている生物相の変貌の過程は、地球科学の視点から環境変動に対する海洋生物の応答を探る上でも注目されている(例えば、佐藤, 2002)。

しかしながら海産貝類の場合、生息場での直接的観察や採集が可能な潮間帯域のものをのぞけば、長期にわたる個体群の経年的動向を追跡することは一般に容易なことではない。潮下帯以深に生息する海産貝類の絶滅危険

<sup>1</sup>静岡大学教育学部地学教室, 422-8529 静岡市大谷836

<sup>1</sup>Geological Institute, Faculty of Education, Shizuoka University, 836 Oya, Shizuoka 422-8529, Japan  
E-mail: etnobuh@ipc.shizuoka.ac.jp

<sup>2</sup>422-0825 静岡市瓦場町119-9 (故人)

<sup>2</sup>Deceased, formerly in 119-9 Kawaraba-cho, Shizuoka 422-0825, Japan

度に関して正確な評価を下すには、打ち上げ採集や漁による混獲物の継続的調査やその蓄積が必要であるが、そのような手法で長期にわたって地域の貝類相を監視し続けた基礎資料は決して多いとは言えない。現在進行している各都道府県別「レッドデータブック」の中には、貝類部門の対象を陸域・淡水域、干潟・汽水域や潮間帯のものに限定している場合もある（例えば、鹿児島県環境生活部環境保護課，2003）。

潮下帯以深～浅海域をも対象にして、地域の長期データをまとめた例として池田ほか（2001）による「相模湾レッドデータ」が挙げられる。池田ほか（2001）は三浦半島東岸のほぼ全域を対象に、1963年4月～2000年12月までの37年間において、打ち上げ採集、潮間帯の磯・干潟砂浜採集、潜水採集、底刺し網漁、蛸壺漁によって得られた貝類資料をもとに、潮間帯～水深20 m付近までに生息する貝類に限定して「レッドデータ」をまとめた。その調査回数は延べ11,465回に及ぶ。その中には、111種の貝類について絶滅危惧の危険度、採集できなくなった時期、原因などが記載され、1960年以降の開発や人為的な環境変化による生物相の変調が示されている。

著者の一人である故寺田 徹は、駿河湾において西伊豆側と相良側の代表的漁港およびその周辺の海岸に、1975年11月から2000年3月までの25年間に渡って通い続け、「相模湾レッドデータ」とほぼ同様の手法で貝類の採集を続けてきた。種数は713、標本数は概算1万点以上におよぶ。また、標本には採集日と採集場所を記したラベルが付され、25年間にわたる採集記録ノートとの照合が可能で、これらの貝類資料をもとにすれば駿河湾内の貝類相の時間的な変化を追跡できる（以後、本資料を寺田コレクションと呼ぶ）。本研究は、寺田コレクションをもとに、駿河湾内の沿岸環境保全のための基礎資料を提示することを目的とし、隣接海湾である相模湾で絶滅が危惧されている貝類について、駿河湾内における最近25年間の動向を追跡した。

## 資料と方法

研究をすすめるにあたっては、採集者である寺田の残したコレクションと採集記録ノートを、延原・藤森が整理を引き継ぐ形で進めた（標本は現在、寺田の自宅に収蔵されている）。採集地点を図1に、採集記録ノートをもとに作成した各地点における採集時系列を表1および図2に示す。採集記録ノートには、採集年月日、採集場所、その日に採集された代表的な貝類の種名（和名）および標本の状態、個体数、採集方法などが記されている（採集記録ノートに記載されていても収蔵を確認できていない標本もある）。採集地点は、用宗漁港から相良海岸を中心とする相良側（駿河湾西側）の10地点、江梨から石廊崎までの駿河湾東側（西伊豆側）の9地点である（なお、採集記録ノートに記載されている下田今井漁港については、湾内の正確な場所が特定できなかった）。

採集方法は、おもに沿岸及び沖合漁により混獲したものを対象とし、網掃除の際の魚屑を回収したり、地元漁師に標本の保管を依頼して定期的に回収する場合もあつ

た（寺田朝子氏による私信）。相良側での漁港の採集物は、おもに各漁港の近隣海域におけるイセエビ刺し網や、ヒラメ漁、および石花海周辺のボタンエビ漁による。また、西伊豆側での採集物は、おなじく各漁港の近隣海域でのイセエビ刺し網やタコツボ漁による。また自分で磯場、砂浜を歩いて採集した場合もあり、とくに「洗濯岩」と名付けた相良付近の地点では、定期的な採集を行った。

図2をもとに採集時系列の全体像を概観すると、相良側では相良漁港を中心として、1980年代後半を除いてほぼ25年間を通しての採集記録がある。西伊豆側では、相良側に比べて採集頻度は少ないが、八木沢を中心に1980～1983年、1988～2000年までほぼ定期的な採集がなされている。これらのことから、寺田コレクションは、おもに漁業操業対象となる沿岸・浅海域を中心に、1980年代後半を除いてほぼ25年間の駿河湾の貝類相の状態をモニターし続けた資料を提供するものであるといえる。

残念ながら、個体群の定量的な動向など採集者である寺田でなくてはわからない事項もあり、絶滅危惧の危険度に関する厳密な評価を全種にわたって下すことは困難であった。そこで今回は、近隣の海湾である相模湾でのレッドデータ（池田ほか，2001）でリストされている種（多板類2種を除く）について、駿河湾内での採集記録を整理し、貝類相の時間変化を復元する上での基礎資料として表2にまとめた。

表2および本文中において言及している、それぞれの種についての「生息環境」、「相模湾での評価」および個体群の弱体に関する「原因」は、すべて池田ほか（2001）に基づいている。池田ほか（2001）はレッドデータに掲載する種の選定に関して、極端な繁殖周期のある種、黒潮による偶因分布種、希少種、完新統からの化石洗い出しによる混同をチェックした上で、消滅あるいは過去に比べて生息個体数が著しく減少したと思われる種をリストし、以下のような評価区分に分類した。

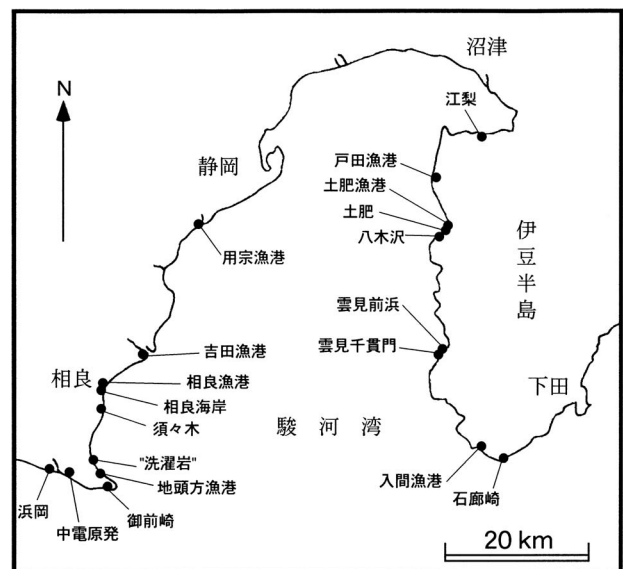


図1 寺田コレクション採集地点。

Fig. 1 Sampling localities of the specimens of the Terada shell collection.

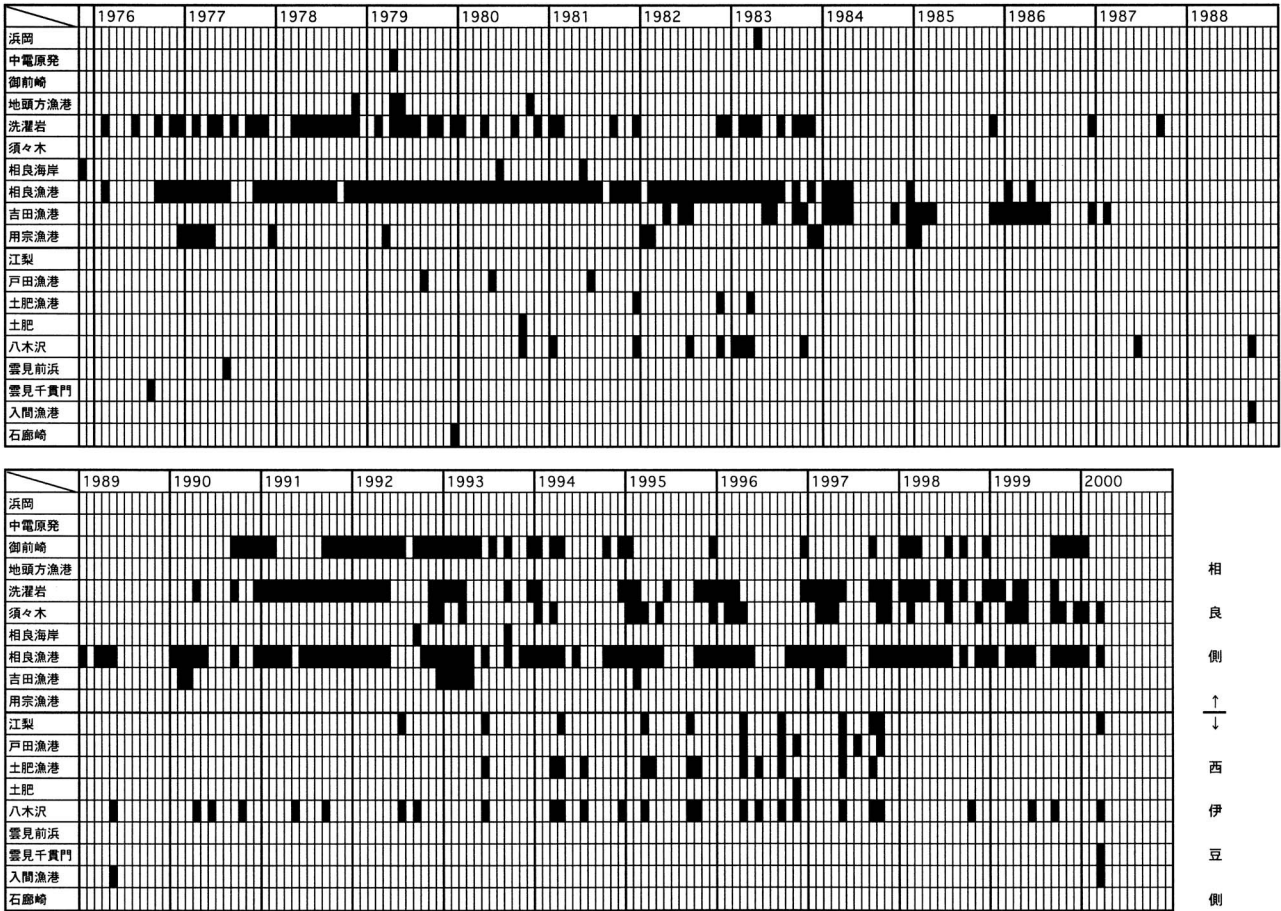


図2 各採集地点における採集時系列。採集を行った月を黒で表示。

Fig. 2 Time series records of sampling at each locality. The months in which the shells were collected are colored in black.

- 消滅：相模湾において過去の記録（1930年頃）では明らかに生息していたが、現在では全く見られなくなった種。
- 消滅寸前：相模湾において生息は確認されているが、現在は個体数の減少が著しく、わずかに残存している種。
- 減少：もとは相模湾で生息密度が高かったが、現在は生息個体数が減少している種。

残念ながら、駿河湾産の貝類について上述したような基準で絶滅危険度を評価するには、採集ノートや残された標本だけでは個体群の定量的変動に関する情報が十分とはいえない。また寺田コレクションは1975年以降の採集資料であり、以前の採集記録との比較も必要である。これまでに公表された駿河湾の貝類相に関するまとまった報告としては、沼津市牛臥付近を対象として611種をリストした大山（1943）による目録、Tsuchi（1956, 1958, 1959, 1960, 1966）および土（1965）による湾内および清水、戸田、安良里等の支湾の貝類相の報告、波部ほか（1986）による「駿河湾産有殻軟体動物目録」などがある。とくに波部ほか（1986）は、1980年以來行ってきた東海大学の大学丸二世と望星丸二世による採泥調査、タカアシガニ漁等の漁船による調査、および沿岸採集に加え、既存文献からの調査と、東京大学海洋研究所の淡青丸と白鳳丸による底生動物調査（1966—1982年）の結果もあ

わせ、駿河湾産の貝類1,308種及び亜種をリストした。表2の「駿河湾での状況」の項目には、波部ほか（1986）の目録での記録の有無、寺田コレクションにおける採集頻度を考慮し、駿河湾内においても消滅の危惧のある種や生息個体群の調査が求められる種についてはコメントを記した。

#### 駿河湾における絶滅危惧種の動向

池田ほか（2001）による相模湾レッドデータでの掲載種は主に1970—80年代に消滅・激減・減少したものが多く、これらの種が1975—2000年に駿河湾でどれくらいの頻度で採集されているのかを寺田コレクションをもとに追跡した結果、生息環境との関係で以下のような傾向が見出された。なお、ここでは相模湾の生息環境のデータを類似の海況にある駿河湾にもそのまま適用できると仮定して議論したが、潮下帯～浅海帯の中における詳細な生息水深が駿河湾においても適用できるかどうかについては、今後検証が必要である。

1975年以降も頻繁に採集され、1990年代に入っても生貝が確認されているものは、潮下帯～水深20ないし50 mの砂底・岩礁底に生息する種が多い。それらは、相模湾では「消滅」とされている *Babylonia japonica* (Reeve) バイ（水深5—10 mの砂底）、「消滅寸前」とされている

*Siphonalia fusoides* (Reeve) トウイト (水深10—50 mの砂泥底), *Siphonalia cassidariaeformis* (Reeve) ミクリガイ (水深10—50 mの砂泥底), *Coelomactra antiquata* (Spengler) アリソガイ (水深5—10 mの砂底), 「減少」とされている *Strombus (Doxander) japonicus* Reeve シドロガイ (潮間帯～水深20 mの砂底), *Phalium (Bezoardicella) flammiferum* (Röding) カズラガイ (水深10—50 mの砂底), *Gyroscaia (Pomiscala) lamellosa* (Lamarck) ネジガイ (潮間帯～水深10 m岩礁底のイソギンチャク類に付着), *Ceratostoma fourrieri* (Crosse) イソバショウ (潮間帯～水深50 mの岩礁), *Hemifusus tuba* (Gmelin) テングニシ (水深10—50 mの砂底・泥底), *Pleuroploca trapezium paeteli* (Strebel) ヒメイトマキボラ (水深5—30 mの礫底・岩礁底), *Conus (Chelyconus) fulmen* Reeve ベッコウイモ (潮間帯～水深50 mの岩礁域・砂礫底), *Chlamys (Laevichlamys) irregularis* (Sowerby) ナデシコガイ (潮間帯～水深20 mの岩礁), *Vasticardium arenicola* (Reeve) キヌザル (水深10—30 mの砂底), *Dosinorbis bilunulatus* (Gray) ヒナガイ (水深5—10 mの砂底), *Cyclosunetta menstrualis* (Menke) ワスレガイ (潮下帯～水深50 mの砂底), *Meretrix lamarckii* Deshayes チョウセンハマグリ (潮下帯～水深10 mの砂底) である。今回の資料のみでは湾内の個体群変動について評価できないものの、これらの種のほとんどは1990年代以降も健全個体群が存在している可能性がある。

一方、生息場が汽水域や潮間帯に限定される種や浅海帯の中でもより沿岸側 (潮下帯水深10 m付近まで) に生息する種については、多数回採集されても死殻のみで生貝がまれである場合が多い。*Conus (Stephanoconus) pauperculus* Sowerby ベニイモ (水深10 mの岩礁) は、25年間を通して頻繁に採集されているがいずれも磨耗をうけた死殻である。また、*Nitidotellina hokkaidoensis* Habe サクラガイ (潮下帯～水深15 mの砂底) や *Moerella jodoensis* (Lischke) モモノハナガイ (水深5—10 mの砂底) も多数回採集されているが、個体数は少なく、確実に生貝といえるものもまれである。寺田 (1994) によれば、1960年以前は袖師の海水浴場に多数のサクラガイが打ち上がっていたが、最近では打上を見ることはほとんどなくなったとされている。1975年以降延べ10回程程度の採集記録があるが、1980年代に入ってから生貝が確認されていないものには以下の種が挙げられる：*Chlorostoma turbinatum* A. Adams ヘソアキクボガイ (潮間帯～水深10 mの岩礁・転石), *Clithon retropicta* (Martens) イシマキガイ (河口部汽水域), *Cerithium dialeucum* Philippi コベルトカニモリ (潮間帯の岩礁), *Rhinoclavis (Proclava) kochi* (Philippi) カニモリガイ (潮間帯～水深10 mの砂底), *Strombus (Dolomena) marginatus robustus* Sowerby フドロガイ (潮間帯～水深10 mの砂底), *Cantharus (Pollia) mollis* (Gould) シワホラダマシ (潮間帯～水深10 mの岩礁), *Olivella japonica* Pilsbry ホタルガイ (潮下帯～水深10 mの砂底), *Conus (Virroconus) fulgetrum* Sowerby サヤガタイモ (潮下帯の岩礁), *Pristiterebra tsuboiana* (Yokoyama)

コゲチャタケ (水深10 m前後の砂底), *Hastula rufopunctata* (Smith) シチクガイ (潮下帯～水深10 mの砂底)。これらの種については、相模湾と同様に減少・消滅傾向の可能性があり、今後の動向に注意を払う必要がある。

1975年以降の寺田による記録では採集頻度が著しく低いか、あるいは全く採集されていない種も多く認められる。このうち、内湾性種や干潟泥底種については、外洋的な環境の卓越する駿河湾の海況の影響で本来適した生息環境が稀であることと、また干潟を対象とした採集を多くに行っていないことによる。なお、以下の内湾性種・干潟泥底種は、波部ほか (1986) に記録されている：*Umbonium moniliferum* (Lamarck) イボキサゴ (潮間帯砂泥底), *Phenacolepas (Cinnalepeta) pulchella* (Lischke) ミヤコドリ (干潟の岩礁域), *Batillaria zonalis* (Bruguère) イボウミニナ (内湾の干潟), *Batillaria multiformis* (Lischke) ウミニナ (内湾の干潟), *Cerithidea (Cerithideopsis) djadjariensis* (Martin) カワアイ (内湾の潮間帯砂泥底), *Ostrea denselamellosa* Lischke イタバガキ (水深5—20 mの砂泥の礫), *Anodontia stearnsiana* Oyama イセシラガイ (潮下帯～水深20 mの砂泥底), *Tresus keenae* (Kuroda and Habe) ミルクイ (潮下帯～水深10 mの礫泥底), *Meropesta nicobarica* (Gmelin) ユキガイ (消滅, 潮下帯～水深5 mの砂泥底), *Moerella rutila* (Dunker) ユウシオガイ (潮間帯干潟～水深5 mの砂泥底), *Nuttallia japonica* (Reeve) イソシジミ (内湾の潮間帯～水深10 mの砂泥底), *Dosinella angulosa* (Philippi) ウラカガミガイ (内湾の潮間帯～水深10 mの泥底), *Meretrix lusoria* (Röding) ハマグリ (潮間帯～水深15 mの砂泥底), *Cyclina sinensis* (Gmelin) オキシジミ (内湾の潮間帯～水深10 mの砂泥底), *Mya (Arenomya) arenaria oonogai* Makiyama オオノガイ (潮間帯干潟の砂泥底), *Laternula (Exolaternula) marilina* (Reeve) ソトオリガイ (潮間帯干潟の砂泥底)。これらの種は、相模湾においては支湾の埋め立てによる干潟の消失で「消滅」あるいは「消滅寸前」とされている。今回の資料だけでは評価できないが、駿河湾でも同様の状況が予測される。

内湾性種や干潟泥底種を除いて、駿河湾で1975年以降ほとんど採集されていないものには以下の種がある (これらは波部ほか (1986) の目録には記録があるので、個体群の規模は不明であるがかつて湾内に分布していたと考えられる)：*Clypeomorus bifasciata* (Sowerby) カヤノミカニモリ (潮間帯の岩礁, 転石, 礫底), *Assiminea japonica* Martens カワザンショウ (河口部のアシ原), *Natica cernica* Jousseau ハギノツユ (水深10—20 mの砂底), *Sinum planulatum* (Récluz) ツツミガイ (水深10—20 mの砂底), *Epitonium (Depressiscala) auritum* Sowerby オダマキ (潮間帯～水深10 mの砂底), *Epitonium (Papyriscala) robillardii* Sowerby セキモリ (水深10—50 mの砂底), *Coralliophila squamoisissima* (Smith) カゴメサンゴヤドリ (潮間帯～水深10 mの棘胞動物に寄生), *Fusinus tuberosus* (Reeve) ミクリナガニシ (潮間帯下部～水深10 mの砂底), *Costellaria unifac-*

*siata* (Wood) ハナカゴオトメ (水深10—20 mの岩礁域のある砂底), *Tomopleura nivea* (Philippi) マキモノシャジク (水深5—10 mの砂底), *Paradrillia inconstans* (Smith) イボヒメシャジク (水深10 m付近の砂泥底), *Strioterebrum subtexilis* (Smith) シラタケ (水深10—30 mの砂底), *Cinguloterebra jeffreysii* (Smith) ツクシタケ (水深5—10 mの砂底), *Granuliterebra bathyraphe* (Smith) イボヒメトクサ (水深10 m前後の砂底), *Brevimyrella japonica* (Smith) ヒメトクサ (水深5—10 mの砂底), *Acteon siebaldi* (Reeve) オオシイノミガイ (水深10 mの砂底), *Pupa strigosa strigosa* (Gould) コシイノミガイ (潮下帯～水深10 mの砂底), *Melampus nuxeastaneus* Kuroda ハマシイノミガイ (潮上帯の岩礁), *Jupiteria (Saccella) confusa* (Hanley) ゲンロクソデガイ (水深10 m前後の砂底), *Mytilus coruscus* Gould イガイ (水深5—20 mの岩礁), *Trichomya hirsuta* (Lamarck) ケガイ (潮間帯の岩礁), *Latona cuneata* (Linnaeus) ナミノコガイ (潮間帯の砂底), *Pharaonella sieboldii* (Deshayes) ベニガイ (潮間帯の砂底), *Solen kurodai* Habe ダンダラマテガイ (外洋水の潮下帯～水深10 mの砂底), *Ensiculus cultellus* (Linnaeus) タカノハガイ (水深10 m前後の砂底), *Ruditapes variegatus* (Sowerby) ヒメアサリ (潮間帯～水深10 mの砂礫底), *Gomphina melanegis* Römer コタマガイ (潮下帯～水深10 mの砂底). これらの種の生息場を概観すると, 潮間帯～水深10 mの沿岸砂底のものが多い. この中には, 従来より駿河湾では生息個体数が乏しかったものも含まれている可能性もあるが, 寺田が採集を開始した1975年の時点ですでにかなり弱体化していたことも十分考えられる.

## まとめ

相模湾で消滅・減少が危惧される種 (池田ほか, 2001) の駿河湾における動向を, 1975年以降の採集記録 (寺田コレクション) をもとに追跡した. 定量的な個体群の動向を提示することはできないが, 採集頻度を生息環境との関連で概観すると以下のような傾向がある (生息環境については, 類似の海況にある相模湾でのデータを駿河湾でも当てはめた). 比較的深場 (水深20—50 m) にまで生息する種については頻繁に採集記録があり, 生貝も認められていることから, 1990年代に入ってから健全な個体群が存続していたと考えられる. 一方, 潮間帯～水深10 m付近までの生息場については, 採取頻度が乏しい上に生貝も稀にしか得られていない種が多く, 駿河湾内においても護岸等の沿岸開発による底質の変化・海洋汚染などによる影響が危惧される. 潮下帯～沿岸浅海域の生息場における海産貝類の消滅・減少の原因については, 環境ホルモンによるインポセックス, 乱獲, 底質のヘドロ化等が挙げられているが (池田ほか, 2001), 干潟の消失のような目に見える現象とは異なり特定しがたい. これらの種の動向に着目し, 三浦半島と駿河湾での沿岸環境とを今後詳細に比較することで, 浅海性貝類の消滅原因の解明に貢献できるものと思われる.

なお, 内湾性種や干潟に生息する種で, 波部ほか (1986) の目録に掲載されているものについては, 駿河湾内の支湾に小規模ながらそれらの生息場がかつては存在していたと考えられる. これらについては, 本研究での採集地を考慮すれば厳密な評価はできないが, 生息環境の消滅に関しては相模湾と同じ状況が考えられ, 今後の現地調査が望まれる.

## 謝辞

本研究をすすめるにあたり, 静岡市の寺田家の皆様, とくに寺田朝子氏には標本の搜索・整理, 貸出, 調査当時の情報提供など様々な面でご協力いただいた. 静岡市職員の三宅 隆氏, 東海大学自然史博物館の柴 正博氏, 静岡ガス株式会社の萩澤与三郎氏, 静岡朝日テレビの原田増夫氏・中村 潔氏をはじめとする「駿河湾の貝展実行委員会」(2001.11) の皆様には, 「寺田 徹 駿河湾の貝展」の準備段階において標本の整理等に関し, さまざまな援助を与えていただいた. また, 静岡大学理学部の北村晃寿博士・生形貴男博士には査読をしていただいた.

なお本研究は, 静岡県企画部政策企画室の依頼による平成12年度自然系博物館資料調査事業での寺田 徹貝類コレクションの評価事業 (報告者: 延原尊美) が契機の一つとなった. また, 本研究を進めるにあたり, 平成14年度日本生命財団環境問題研究助成「人間活動と環境保全の調和に関する研究」一般研究助成 (課題番号15) を用いた. 以上の方々および団体に深く感謝の意を表する.

表1 採集日・採集地点の一覧.

Table 1 Sampling dates and localities.

採集日	採集場所	採集日	採集場所	採集日	採集場所	採集日	採集場所
1975/ 11/ ?	相良海岸	1977/ 10/ 30	洗濯岩	1979/ 1/ 27	相良漁港	1980/ 1/ 20	洗濯岩
1976/ 2/ 29	洗濯岩	1977/ 11/ 6	相良漁港	1979/ 2/ 5	相良漁港	1980/ 1/ 26	相良漁港
1976/ 5/ 3	相良漁港内	1977/ 11/ 6	洗濯岩	1979/ 2/ 11	相良漁港	1980/ 1/ 28	下田今井漁港
1976/ 6/ 6	洗濯岩	1977/ 11/ 20	相良漁港	1979/ 2/ 11	洗濯岩	1980/ 2/ 3	相良漁港
1976/ 8/ 29	千貫門	1977/ 11/ 27	相良漁港	1979/ 2/ 18	相良漁港	1980/ 2/ 10	相良漁港
1976/ 9/ 17	下田今井漁港	1977/ 11/ 27	洗濯岩	1979/ 2/ 18	用宗漁港	1980/ 2/ 17	相良漁港
1976/ 9/ 26	相良漁港	1977/ 12/ 6	相良漁港	1979/ 2/ 25	相良漁港	1980/ 2/ 24	相良漁港
1976/ 9/ 26	洗濯岩	1977/ 12/ 6	洗濯岩	1979/ 2/ 25	洗濯岩	1980/ 3/ 2	相良漁港
1976/ 10/ 4	相良漁港	1977/ 12/ 18	相良漁港	1979/ 3/ 5	相良漁港	1980/ 3/ 8	相良漁港
1976/ 10/ 10	相良漁港	1977/ 12/ 18	用宗漁港	1979/ 3/ 11	相良漁港	1980/ 3/ 16	相良漁港
1976/ 11/ 14	相良漁港	1977/ 12/ 25	相良漁港	1979/ 3/ 18	相良漁港	1980/ 3/ 20	相良漁港
1976/ 11/ 23	洗濯岩	1977/ 12/ 30	相良漁港	1979/ 3/ 25	相良漁港	1980/ 3/ 23	相良漁港
1976/ 12/ 2	相良漁港	1978/ 1/ 8	相良漁港	1979/ 4/ 1	相良漁港	1980/ 3/ 30	相良漁港
1976/ 12/ 12	相良漁港	1978/ 1/ 15	相良漁港	1979/ 4/ 7	相良漁港	1980/ 4/ 5	相良漁港
1976/ 12/ 12	洗濯岩	1978/ 1/ 22	相良漁港	1979/ 4/ 14	相良漁港	1980/ 4/ 19	相良漁港
1976/ 12/ 19	相良漁港	1978/ 1/ 29	相良漁港	1979/ 4/ 22	相良漁港	1980/ 4/ 19	洗濯岩
1976/ 12/ 24	用宗漁港	1978/ 2/ 5	相良漁港	1979/ 4/ 22	地頭方漁港	1980/ 4/ 26	相良漁港
1976/ 12/ 29	相良漁港	1978/ 2/ 12	相良漁港	1979/ 4/ 22	洗濯岩	1980/ 4/ 27	相良漁港
1977/ 1/ 15	相良漁港	1978/ 2/ 19	相良漁港	1979/ 4/ 26	中電原発	1980/ 5/ 4	相良漁港
1977/ 1/ 23	相良漁港	1978/ 2/ 25	相良漁港	1979/ 4/ 29	相良漁港	1980/ 5/ 10	相良漁港
1977/ 1/ 23	用宗漁港	1978/ 3/ 5	相良漁港	1979/ 4/ 29	洗濯岩	1980/ 5/ 18	相良漁港
1977/ 1/ 30	相良漁港	1978/ 3/ 12	相良漁港	1979/ 5/ 13	相良漁港	1980/ 5/ 24	戸田・八木沢
1977/ 1/ 30	用宗漁港	1978/ 3/ 19	相良漁港	1979/ 5/ 13	地頭方漁港	1980/ 5/ 25	相良漁港
1977/ 2/ 11	用宗漁港	1978/ 3/ 26	相良漁港	1979/ 5/ 13	洗濯岩	1980/ 6/ 8	相良漁港
1977/ 2/ 13	用宗漁港	1978/ 3/ 26	洗濯岩	1979/ 5/ 27	相良漁港	1980/ 6/ 14	相良漁港
1977/ 2/ 20	相良漁港	1978/ 4/ 2	相良漁港	1979/ 6/ 2	相良漁港	1980/ 6/ 29	相良漁港
1977/ 2/ 27	相良漁港	1978/ 4/ 2	洗濯岩	1979/ 6/ 2	洗濯岩	1980/ 7/ 12	相良漁港
1977/ 2/ 27	洗濯岩	1978/ 4/ 9	相良漁港	1979/ 6/ 10	相良漁港	1980/ 8/ 31	相良漁港
1977/ 3/ 6	相良漁港	1978/ 4/ 9	洗濯岩	1979/ 6/ 17	相良漁港	1980/ 8/ 31	洗濯岩
1977/ 3/ 13	相良漁港	1978/ 4/ 16	相良漁港	1979/ 6/ 24	相良漁港	1980/ 9/ 15	八木沢
1977/ 3/ 20	相良漁港	1978/ 4/ 16	洗濯岩	1979/ 7/ 1	相良漁港	1980/ 9/ 15	土肥
1977/ 3/ 20	用宗漁港	1978/ 4/ 23	相良漁港	1979/ 7/ 7	洗濯岩	1980/ 9/ 23	相良漁港
1977/ 3/ 26	相良漁港	1978/ 4/ 23	洗濯岩	1979/ 7/ 7	相良漁港	1980/ 10/ 5	相良漁港
1977/ 4/ 3	相良漁港	1978/ 5/ 3	相良漁港	1979/ 7/ 22	相良漁港	1980/ 10/ 5	地頭方漁港
1977/ 4/ 17	相良漁港	1978/ 5/ 3	洗濯岩	1979/ 7/ 22	洗濯岩	1980/ 10/ 12	相良漁港
1977/ 4/ 17	用宗漁港	1978/ 6/ 4	相良漁港	1979/ 8/ 1	相良漁港	1980/ 10/ 26	相良漁港
1977/ 4/ 23	洗濯岩	1978/ 6/ 4	洗濯岩	1979/ 8/ 25	戸田漁港	1980/ 11/ 8	相良漁港
1977/ 4/ 29	相良漁港	1978/ 7/ 9	相良漁港	1979/ 9/ 9	相良漁港	1980/ 11/ 8	洗濯岩
1977/ 5/ 10	洗濯岩	1978/ 7/ 9	洗濯岩	1979/ 9/ 16	相良漁港	1980/ 11/ 16	相良漁港
1977/ 5/ 14	相良漁港	1978/ 8/ 13	相良漁港	1979/ 9/ 16	洗濯岩	1980/ 11/ 23	相良漁港
1977/ 5/ 14	洗濯岩	1978/ 8/ 13	洗濯岩	1979/ 9/ 24	相良漁港	1980/ 11/ 23	相良漁港
1977/ 5/ 18	洗濯岩	1978/ 10/ 1	相良漁港	1979/ 10/ 14	相良漁港	1980/ 11/ 30	相良漁港
1977/ 5/ 22	洗濯岩	1978/ 10/ 23	相良漁港	1979/ 10/ 27	相良漁港	1980/ 12/ 7	相良漁港
1977/ 6/ 4	相良漁港	1978/ 10/ 23	洗濯岩	1979/ 10/ 28	相良漁港	1980/ 12/ 14	相良漁港
1977/ 6/ 4	洗濯岩	1978/ 11/ 5	相良漁港	1979/ 10/ 28	洗濯岩	1980/ 12/ 21	相良漁港
1977/ 6/ 25	雲見前浜	1978/ 11/ 5	地頭方漁港	1979/ 11/ 11	相良漁港	1980/ 12/ 30	相良漁港
1977/ 7/ 31	洗濯岩	1978/ 11/ 5	洗濯岩	1979/ 11/ 24	相良漁港	1981/ 1/ 15	相良漁港
1977/ 9/ 4	洗濯岩	1978/ 11/ 12	相良漁港	1979/ 12/ 9	相良漁港	1981/ 1/ 23	八木沢
1977/ 9/ 25	洗濯岩	1978/ 11/ 12	洗濯岩	1979/ 12/ 9	洗濯岩	1981/ 1/ 24	相良漁港
1977/ 10/ 1	相良漁港	1978/ 11/ 19	相良漁港	1979/ 12/ 16	相良漁港	1981/ 2/ 8	相良漁港
1977/ 10/ 1	洗濯岩	1978/ 11/ 26	相良漁港	1979/ 12/ 20	石廊崎港	1981/ 2/ 8	洗濯岩
1977/ 10/ 9	相良漁港	1978/ 11/ 26	洗濯岩	1979/ 12/ 20	下田今井漁港	1981/ 2/ 21	相良漁港
1977/ 10/ 9	洗濯岩	1978/ 12/ 10	相良漁港	1979/ 12/ 22	洗濯岩	1981/ 2/ 28	相良漁港
1977/ 10/ 14	下田今井漁港	1978/ 12/ 30	相良漁港	1979/ 12/ 30	相良漁港	1981/ 3/ 7	相良漁港
1977/ 10/ 16	相良漁港	1979/ 1/ 7	相良漁港	1980/ 1/ 6	相良漁港	1981/ 3/ 15	相良漁港
1977/ 10/ 16	洗濯岩	1979/ 1/ 14	相良漁港	1980/ 1/ 12	相良漁港	1981/ 3/ 22	相良漁港
1977/ 10/ 30	相良漁港	1979/ 1/ 21	相良漁港	1980/ 1/ 20	相良漁港	1981/ 3/ 29	相良漁港

採集日	採集場所	採集日	採集場所	採集日	採集場所	採集日	採集場所
1981/ 4/ 5	相良漁港	1982/ 11/ 7	洗濯岩	1984/ 3/ 24	吉田漁港	1989/ 5/ 13	相良漁港
1981/ 4/ 11	相良漁港	1982/ 11/ 14	洗濯岩	1984/ 4/ 1	吉田漁港	1990/ 1/ 27	相良漁港
1981/ 4/ 19	相良漁港	1982/ 11/ 19	土肥漁港	1984/ 4/ 8	吉田漁港	1990/ 2/ 17	相良漁港
1981/ 4/ 26	相良漁港	1982/ 11/ 19	八木沢	1984/ 9/ 9	洗濯岩	1990/ 2/ 17	吉田漁港
1981/ 5/ 2	相良漁港	1982/ 11/ 21	洗濯岩	1984/ 10/ 6	吉田漁港	1990/ 2/ 25	相良漁港
1981/ 5/ 5	相良漁港	1982/ 11/ 28	相良漁港	1984/ 10/ 21	吉田漁港	1990/ 3/ 3	相良漁港
1981/ 5/ 9	相良漁港	1982/ 11/ 28	洗濯岩	1984/ 10/ 28	吉田漁港	1990/ 3/ 10	相良漁港
1981/ 5/ 17	相良漁港	1982/ 12/ 4	洗濯岩	1984/ 12/ 8	相良漁港	1990/ 3/ 10	吉田漁港
1981/ 5/ 23	相良漁港	1982/ 12/ 11	洗濯岩	1984/ 12/ 16	吉田漁港	1990/ 3/ 21	相良漁港
1981/ 5/ 31	相良港	1982/ 12/ 26	相良漁港	1984/ 12/ 22	用宗漁港	1990/ 3/ 25	吉田漁港
1981/ 6/ 14	相良漁港	1982/ 12/ 26	洗濯岩	1984/ 12/ 22	吉田漁港	1990/ 4/ 15	相良漁港
1981/ 6/ 27	相良漁港	1983/ 1/ 15	相良漁港	1984/ 12/ 30	吉田漁港	1990/ 4/ 22	相良漁港
1981/ 6/ 28	戸田・八木沢	1983/ 1/ 18	八木沢	1984/ 12/ 30	用宗漁港	1990/ 4/ 22	洗濯岩
1981/ 7/ 5	相良漁港	1983/ 1/ 30	相良漁港	1985/ 1/ 2	吉田漁港	1990/ 5/ 26	相良漁港
1981/ 9/ 20	相良漁港	1983/ 2/ 6	相良漁港	1985/ 1/ 12	吉田漁港	1990/ 6/ 9	八木沢
1981/ 9/ 20	洗濯岩	1983/ 2/ 12	八木沢	1985/ 1/ 15	用宗漁港	1990/ 9/ 8	相良
1981/ 10/ 11	相良漁港	1983/ 2/ 20	相良漁港	1985/ 1/ 20	吉田漁港	1990/ 9/ 8	洗濯岩
1981/ 10/ 18	相良漁港	1983/ 2/ 26	相良漁港	1985/ 1/ 26	吉田漁港	1990/ 9/ 22	相良
1981/ 10/ 25	相良漁港	1983/ 2/ 26	洗濯岩	1985/ 1/ 26	用宗漁港	1990/ 9/ 22	御前崎
1981/ 10/ 31	相良漁港	1983/ 3/ 12	相良漁港	1985/ 1/ 31	吉田漁港	1990/ 9/ 29	御前崎
1981/ 11/ 8	相良漁港	1983/ 3/ 19	八木沢	1985/ 1/ 31	用宗漁港	1990/ 10/ 6	御前崎
1981/ 11/ 22	相良漁港	1983/ 3/ 19	土肥漁港	1985/ 2/ 10	吉田漁港	1990/ 10/ 10	御前崎
1981/ 11/ 29	相良漁港	1983/ 3/ 21	相良漁港	1985/ 2/ 24	吉田漁港	1990/ 10/ 19	御前崎
1981/ 12/ 7	下田今井漁港	1983/ 3/ 21	洗濯岩	1985/ 3/ 2	吉田漁港	1990/ 10/ 27	御前崎
1981/ 12/ 8	土肥漁港	1983/ 4/ 3	相良漁港	1985/ 3/ 9	吉田漁港	1990/ 10/ 28	八木沢
1981/ 12/ 8	八木沢	1983/ 4/ 9	相良漁港	1985/ 3/ 16	吉田漁港	1990/ 10/ 28	下田今井漁港
1981/ 12/ 12	相良漁港	1983/ 4/ 23	相良漁港	1985/ 11/ 4	吉田漁港	1990/ 11/ 3	御前崎
1981/ 12/ 12	洗濯岩	1983/ 4/ 23	洗濯岩	1985/ 11/ 4	洗濯岩	1990/ 11/ 11	御前崎
1981/ 12/ 26	相良漁港	1983/ 5/ 5	相良漁港	1985/ 11/ 10	吉田漁港	1990/ 12/ 8	相良漁港
1982/ 1/ 15	用宗漁港	1983/ 5/ 21	吉田漁港	1985/ 12/ 29	吉田漁港	1990/ 12/ 8	洗濯岩
1982/ 1/ 17	用宗漁港	1983/ 6/ 5	吉田漁港	1986/ 1/ 19	吉田漁港	1990/ 12/ 8	御前崎
1982/ 1/ 24	用宗漁港	1983/ 6/ 11	相良漁港	1986/ 1/ 19	相良漁港	1990/ 12/ 15	相良漁港
1982/ 2/ 7	用宗漁港	1983/ 7/ 2	相良漁港	1986/ 2/ 2	吉田漁港	1990/ 12/ 15	洗濯岩
1982/ 2/ 27	相良漁港	1983/ 7/ 17	洗濯岩	1986/ 2/ 9	吉田漁港	1990/ 12/ 15	御前崎
1982/ 3/ 4	相良漁港	1983/ 9/ 11	洗濯岩	1986/ 2/ 22	吉田漁港	1990/ 12/ 22	相良漁港
1982/ 3/ 13	相良漁港	1983/ 9/ 23	八木沢	1986/ 3/ 8	吉田漁港	1990/ 12/ 22	洗濯岩
1982/ 3/ 27	相良漁港	1983/ 9/ 25	相良漁港	1986/ 3/ 21	吉田漁港	1990/ 12/ 29	相良漁港
1982/ 4/ 4	相良漁港	1983/ 10/ 10	洗濯岩	1986/ 4/ 6	吉田漁港	1990/ 12/ 29	洗濯岩
1982/ 4/ 18	相良漁港	1983/ 10/ 23	吉田漁港	1986/ 4/ 13	吉田漁港	1991/ 1/ 12	相良漁港
1982/ 4/ 25	吉田漁港	1983/ 10/ 30	洗濯岩	1986/ 4/ 13	相良漁港	1991/ 1/ 12	洗濯岩
1982/ 4/ 29	相良漁港	1983/ 11/ 13	吉田漁港	1986/ 4/ 26	吉田漁港	1991/ 1/ 12	御前崎
1982/ 4/ 29	吉田漁港	1983/ 11/ 27	吉田漁港	1986/ 5/ 4	吉田漁港	1991/ 1/ 27	相良漁港
1982/ 5/ 9	相良漁港	1983/ 11/ 27	相良漁港	1986/ 5/ 11	吉田漁港	1991/ 1/ 27	洗濯岩
1982/ 6/ 5	相良漁港	1983/ 11/ 27	洗濯岩	1986/ 5/ 18	吉田漁港	1991/ 2/ 3	相良漁港
1982/ 6/ 5	吉田漁港	1983/ 12/ 4	吉田漁港	1986/ 12/ 29	吉田漁港	1991/ 2/ 17	洗濯岩
1982/ 6/ 20	相良漁港	1983/ 12/ 4	浜岡	1986/ 12/ 29	洗濯岩	1991/ 2/ 17	御前崎
1982/ 6/ 20	吉田漁港	1983/ 12/ 10	吉田漁港	1987/ 2/ 11	吉田漁港	1991/ 2/ 24	洗濯岩
1982/ 6/ 27	吉田漁港	1984/ 1/ 15	吉田漁港	1987/ 6/ 27	八木沢	1991/ 3/ 9	洗濯岩
1982/ 7/ 11	相良漁港	1984/ 1/ 15	相良漁港	1987/ 9/ 19	洗濯岩	1991/ 3/ 16	相良漁港
1982/ 7/ 11	吉田漁港	1984/ 1/ 22	吉田漁港	1988/ 9/ 18	入間漁港	1991/ 3/ 24	相良漁港
1982/ 7/ 18	相良漁港	1984/ 1/ 28	吉田漁港	1988/ 9/ 18	八木沢	1991/ 4/ 6	相良漁港
1982/ 7/ 29	八木沢	1984/ 2/ 5	吉田漁港	1989/ 1/ 15	相良漁港	1991/ 4/ 13	吉田漁港
1982/ 8/ 1	相良漁港	1984/ 2/ 5	相良	1989/ 1/ 22	相良漁港	1991/ 4/ 13	相良漁港
1982/ 9/ 26	相良漁港	1984/ 2/ 12	吉田漁港	1989/ 3/ 11	相良漁港	1991/ 4/ 13	洗濯岩
1982/ 10/ 3	相良漁港	1984/ 2/ 19	吉田漁港	1989/ 3/ 25	相良漁港	1991/ 4/ 29	相良
1982/ 10/ 17	相良漁港	1984/ 2/ 25	吉田漁港	1989/ 4/ 2	相良漁港	1991/ 4/ 29	相良
1982/ 10/ 31	相良漁港	1984/ 3/ 3	吉田漁港	1989/ 4/ 19	相良漁港	1991/ 4/ 29	相良
1982/ 11/ 3	相良漁港	1984/ 3/ 11	吉田漁港	1989/ 5/ 4	入間漁港	1991/ 4/ 29	相良
1982/ 11/ 3	洗濯岩	1984/ 3/ 18	吉田漁港	1989/ 5/ 4	八木沢	1991/ 5/ 25	洗濯岩

採集日	採集場所	採集日	採集場所	採集日	採集場所	採集日	採集場所
1991/ 5/ 28	八木沢	1992/ 2/ 15	相良漁港	1992/ 12/ 23	洗濯岩	1993/ 12/ 5	相良漁港
1991/ 6/ 15	相良	1992/ 3/ 5	相良	1992/ 12/ 23	吉田漁港	1993/ 12/ 12	相良漁港
1991/ 6/ 15	洗濯岩	1992/ 3/ 5	洗濯岩	1992/ 12/ 26	相良漁港	1993/ 12/ 12	洗濯岩
1991/ 7/ 20	相良	1992/ 3/ 5	御前崎	1992/ 12/ 26	洗濯岩	1993/ 12/ 19	相良漁港
1991/ 7/ 20	洗濯岩	1992/ 3/ 14	御前崎	1992/ 12/ 26	御前崎	1993/ 12/ 19	御前崎
1991/ 7/ 31	相良	1992/ 3/ 14	相良漁港	1993/ 1/ 4	相良漁港	1993/ 12/ 25	相良漁港
1991/ 7/ 31	洗濯岩	1992/ 3/ 22	御前崎	1993/ 1/ 4	洗濯岩	1993/ 12/ 25	洗濯岩
1991/ 7/ 31	千浜	1992/ 3/ 22	相良漁港	1993/ 1/ 4	御前崎	1994/ 1/ 8	相良漁港
1991/ 8/ 10	相良	1992/ 4/ 11	御前崎	1993/ 1/ 9	吉田漁港	1994/ 1/ 8	洗濯岩
1991/ 8/ 10	洗濯岩	1992/ 4/ 11	相良漁港	1993/ 1/ 9	相良漁港	1994/ 1/ 8	須々木
1991/ 9/ 1	相良	1992/ 4/ 16	相良港	1993/ 1/ 9	洗濯岩	1994/ 1/ 15	相良漁港
1991/ 9/ 1	洗濯岩	1992/ 4/ 18	洗濯岩	1993/ 1/ 16	吉田漁港	1994/ 1/ 15	御前崎
1991/ 9/ 14	御前崎	1992/ 4/ 18	相良漁港	1993/ 1/ 16	相良漁港	1994/ 1/ 29	相良漁港
1991/ 9/ 21	洗濯岩	1992/ 4/ 25	相良漁港	1993/ 1/ 16	洗濯岩	1994/ 2/ 26	相良
1991/ 9/ 21	御前崎	1992/ 4/ 25	洗濯岩	1993/ 1/ 23	吉田漁港	1994/ 3/ 5	相良
1991/ 9/ 27	御前崎	1992/ 5/ 2	御前崎	1993/ 1/ 23	相良漁港	1994/ 3/ 5	須々木
1991/ 10/ 5	御前崎	1992/ 5/ 2	洗濯岩	1993/ 1/ 23	洗濯岩	1994/ 3/ 5	御前崎
1991/ 10/ 10	御前崎	1992/ 5/ 2	相良漁港	1993/ 1/ 23	御前崎	1994/ 3/ 12	八木沢
1991/ 10/ 10	洗濯岩	1992/ 5/ 9	御前崎	1993/ 1/ 30	吉田漁港	1994/ 3/ 12	土肥漁港
1991/ 10/ 13	御前崎	1992/ 5/ 9	相良漁港	1993/ 1/ 30	相良漁港	1994/ 3/ 21	相良漁港
1991/ 10/ 19	相良漁港	1992/ 5/ 16	御前崎	1993/ 1/ 30	洗濯岩	1994/ 4/ 9	相良
1991/ 10/ 19	御前崎	1992/ 5/ 16	洗濯岩	1993/ 2/ 7	吉田漁港	1994/ 4/ 9	御前崎
1991/ 10/ 25	御前崎	1992/ 5/ 16	相良漁港	1993/ 2/ 7	相良漁港	1994/ 4/ 16	八木沢
1991/ 11/ 2	御前崎	1992/ 5/ 30	御前崎	1993/ 2/ 7	洗濯岩	1994/ 4/ 16	土肥漁港
1991/ 11/ 2	相良漁港	1992/ 6/ 6	御前崎	1993/ 2/ 13	吉田漁港	1994/ 4/ 16	江梨
1991/ 11/ 10	相良漁港	1992/ 6/ 27	御前崎	1993/ 2/ 13	相良漁港	1994/ 4/ 23	相良漁港
1991/ 11/ 10	相良漁港	1992/ 7/ 2	八木沢	1993/ 2/ 13	洗濯岩	1994/ 6/ 11	相良漁港
1991/ 11/ 10	洗濯岩	1992/ 7/ 2	江梨	1993/ 2/ 20	吉田漁港	1994/ 7/ 1	八木沢
1991/ 11/ 10	御前崎	1992/ 7/ 4	御前崎	1993/ 2/ 20	相良漁港	1994/ 7/ 1	土肥漁港
1991/ 11/ 22	御前崎	1992/ 9/ 11	御前崎	1993/ 2/ 20	御前崎	1994/ 10/ 1	御前崎
1991/ 11/ 22	相良	1992/ 9/ 11	相良(浜)	1993/ 2/ 28	吉田漁港	1994/ 10/ 1	相良漁港
1991/ 11/ 30	御前崎	1992/ 9/ 23	御前崎	1993/ 2/ 28	相良漁港	1994/ 11/ 3	相良漁港
1991/ 11/ 30	洗濯岩	1992/ 9/ 30	八木沢	1993/ 2/ 28	洗濯岩		(須々木)
1991/ 11/ 30	相良	1992/ 10/ 10	御前崎	1993/ 3/ 6	吉田漁港	1994/ 11/ 12	相良漁港
1991/ 12/ 7	御前崎	1992/ 10/ 10	相良漁港	1993/ 3/ 6	相良港	1994/ 12/ 3	相良漁港
1991/ 12/ 7	相良	1992/ 10/ 17	相良漁港	1993/ 3/ 6	洗濯岩	1994/ 12/ 18	相良漁港
1991/ 12/ 14	御前崎	1992/ 10/ 25	相良漁港	1993/ 3/ 6	御前崎	1994/ 12/ 18	洗濯岩
1991/ 12/ 14	洗濯岩	1992/ 11/ 1	相良漁港	1993/ 3/ 13	吉田漁港	1994/ 12/ 18	御前崎
1991/ 12/ 14	相良	1992/ 11/ 3	相良漁港	1993/ 3/ 13	相良	1994/ 12/ 23	八木沢
1991/ 12/ 21	御前崎	1992/ 11/ 3	洗濯岩	1993/ 3/ 13	須々木	1995/ 1/ 7	相良
1991/ 12/ 21	洗濯岩	1992/ 11/ 7	相良漁港	1993/ 3/ 13	洗濯岩	1995/ 1/ 7	須々木
1991/ 12/ 29	御前崎	1992/ 11/ 7	須々木	1993/ 3/ 27	吉田漁港	1995/ 1/ 7	洗濯岩
1991/ 12/ 29	相良漁港	1992/ 11/ 13	御前崎	1993/ 3/ 27	相良漁港	1995/ 1/ 21	相良
1992/ 1/ 2	御前崎	1992/ 11/ 13	相良(須々木)	1993/ 4/ 10	吉田漁港	1995/ 1/ 21	洗濯岩
1992/ 1/ 2	洗濯岩	1992/ 11/ 21	相良漁港	1993/ 4/ 10	相良漁港	1995/ 1/ 28	洗濯岩
1992/ 1/ 12	御前崎	1992/ 11/ 21	洗濯岩	1993/ 4/ 24	吉田漁港	1995/ 1/ 28	御前崎
1992/ 1/ 12	洗濯岩	1992/ 11/ 21	須々木	1993/ 4/ 24	相良漁港	1995/ 1/ 28	相良漁港
1992/ 1/ 12	相良漁港	1992/ 11/ 28	相良漁港	1993/ 4/ 24	御前崎	1995/ 2/ 11	相良漁港
1992/ 1/ 18	御前崎	1992/ 11/ 28	須々木	1993/ 5/ 5	御前崎	1995/ 2/ 11	須々木
1992/ 1/ 18	相良漁港	1992/ 11/ 28	洗濯岩	1993/ 6/ 5	相良漁港	1995/ 2/ 11	相良
1992/ 1/ 25	御前崎	1992/ 12/ 9	御前崎	1993/ 6/ 27	江梨	1995/ 2/ 18	相良漁港
1992/ 1/ 25	相良漁港	1992/ 12/ 9	洗濯岩	1993/ 6/ 27	土肥漁港	1995/ 2/ 18	洗濯岩
1992/ 1/ 28	戸田?	1992/ 12/ 9	須々木	1993/ 6/ 27	八木沢	1995/ 2/ 18	須々木
1992/ 2/ 1	御前崎	1992/ 12/ 9	相良漁港	1993/ 7/ 4	御前崎	1995/ 2/ 18	吉田漁港
1992/ 2/ 8	相良漁港	1992/ 12/ 12	相良漁港	1993/ 9/ 5	洗濯岩	1995/ 3/ 4	相良漁港
1992/ 2/ 8	洗濯岩	1992/ 12/ 12	須々木	1993/ 9/ 5	相良	1995/ 3/ 4	須々木
1992/ 2/ 8	御前崎	1992/ 12/ 12	洗濯岩	1993/ 9/ 25	相良海岸	1995/ 3/ 11	土肥漁港
1992/ 2/ 15	御前崎	1992/ 12/ 12	吉田漁港	1993/ 9/ 25	洗濯岩	1995/ 3/ 11	八木沢
1992/ 2/ 15	洗濯岩	1992/ 12/ 23	相良漁港	1993/ 11/ 6	相良漁港	1995/ 3/ 11	江梨



採集日	採集場所	採集日	採集場所	採集日	採集場所	採集日	採集場所
1995/ 3/ 18	相良漁港	1996/ 4/ 20	江梨	1997/ 10/ 10	相良	1999/ 4/ 10	相良漁港
1995/ 3/ 18	須々木	1996/ 4/ 27	相良漁港	1997/ 10/ 10	洗濯岩	1999/ 4/ 10	須々木
1995/ 3/ 25	土肥漁港	1996/ 5/ 11	相良漁港	1997/ 10/ 19	相良	1999/ 4/ 25	相良漁港
1995/ 3/ 25	八木沢	1996/ 6/ 8	土肥漁港	1997/ 10/ 19	須々木	1999/ 4/ 25	洗濯岩
1995/ 3/ 30	相良漁港	1996/ 6/ 8	八木沢	1997/ 11/ 3	相良	1999/ 5/ 23	相良漁港
1995/ 3/ 30	須々木	1996/ 9/ 21	土肥漁港	1997/ 11/ 3	須々木	1999/ 5/ 23	須々木
1995/ 4/ 16	相良漁港	1996/ 9/ 21	八木沢	1997/ 11/ 15	相良	1999/ 5/ 23	洗濯岩
1995/ 4/ 22	土肥漁港	1996/ 9/ 21	戸田漁港	1997/ 11/ 15	洗濯岩	1999/ 6/ 5	八木沢
1995/ 4/ 22	八木沢	1996/ 9/ 21	江梨	1997/ 11/ 30	相良	1999/ 6/ 20	相良
1995/ 4/ 29	相良漁港	1996/ 10/ 13	相良漁港	1997/ 11/ 30	須々木	1999/ 9/ 17	八木沢
1995/ 5/ 13	相良漁港	1996/ 10/ 26	相良漁港	1997/ 11/ 30	洗濯岩	1999/ 9/ 30	相良漁港
1995/ 5/ 13	須々木	1996/ 11/ 2	土肥	1997/ 12/ 13	相良	1999/ 9/ 30	須々木
1995/ 5/ 27	相良漁港	1996/ 11/ 2	八木沢	1997/ 12/ 21	相良	1999/ 9/ 30	洗濯岩
1995/ 6/ 24	相良漁港	1996/ 11/ 2	戸田漁港	1998/ 1/ 10	相良	1999/ 10/ 15	相良漁港
1995/ 6/ 24	洗濯岩	1996/ 11/ 9	相良	1998/ 1/ 10	洗濯岩	1999/ 10/ 15	須々木
1995/ 9/ 23	土肥漁港	1996/ 11/ 23	相良	1998/ 1/ 10	御前崎	1999/ 10/ 29	相良漁港
1995/ 9/ 23	八木沢	1996/ 12/ 14	相良	1998/ 1/ 24	相良	1999/ 10/ 29	須々木
1995/ 9/ 23	江梨	1996/ 12/ 14	御前崎	1998/ 1/ 24	洗濯岩	1999/ 10/ 29	御前崎
1995/ 10/ 7	相良漁港	1996/ 12/ 28	相良	1998/ 2/ 7	相良	1999/ 11/ 6	相良漁港
1995/ 10/ 7	洗濯岩	1996/ 12/ 28	洗濯岩	1998/ 2/ 7	須々木	1999/ 11/ 6	御前崎
1995/ 10/ 14	相良漁港	1997/ 1/ 11	相良漁港	1998/ 2/ 7	洗濯岩	1999/ 12/ 8	相良漁港
1995/ 10/ 22	土肥漁港	1997/ 1/ 25	相良漁港	1998/ 2/ 7	御前崎	1999/ 12/ 8	須々木
1995/ 10/ 22	八木沢	1997/ 1/ 25	洗濯岩	1998/ 2/ 21	相良	1999/ 12/ 8	御前崎
1995/ 10/ 28	相良漁港	1997/ 2/ 1	相良漁港	1998/ 3/ 7	相良	1999/ 12/ 18	相良漁港
1995/ 10/ 28	洗濯岩	1997/ 2/ 1	洗濯岩	1998/ 3/ 7	洗濯岩	1999/ 12/ 26	相良漁港
1995/ 11/ 11	相良漁港	1997/ 2/ 11	相良漁港	1998/ 3/ 22	相良	2000/ 1/ 10	相良漁港
1995/ 11/ 11	洗濯岩	1997/ 2/ 11	須々木	1998/ 4/ 4	相良	2000/ 1/ 10	須々木
1995/ 11/ 27	相良漁港	1997/ 2/ 11	吉田漁港	1998/ 4/ 18	相良	2000/ 1/ 10	御前崎
1995/ 12/ 10	相良漁港	1997/ 2/ 23	相良漁港	1998/ 4/ 18	洗濯岩	2000/ 1/ 29	相良漁港
1995/ 12/ 10	洗濯岩	1997/ 2/ 23	須々木	1998/ 5/ 9	相良	2000/ 3/ 3	下田今井漁港
1995/ 12/ 10	御前崎	1997/ 2/ 23	洗濯岩	1998/ 6/ 6	洗濯岩	2000/ 3/ 3	入間漁港
1995/ 12/ 23	相良漁港	1997/ 3/ 1	相良漁港	1998/ 7/ 18	相良	2000/ 3/ 3	雲見千貫門
1995/ 12/ 23	須々木	1997/ 3/ 1	須々木	1998/ 7/ 18	須々木	2000/ 3/ 4	八木沢
1995/ 12/ 23	洗濯岩	1997/ 3/ 1	洗濯岩	1998/ 7/ 18	洗濯岩	2000/ 3/ 4	江梨
1996/ 1/ 6	相良漁港	1997/ 3/ 9	相良漁港	1998/ 7/ 18	御前崎	2000/ 3/ 10	相良
1996/ 1/ 6	洗濯岩	1997/ 3/ 20	相良漁港	1998/ 9/ 27	相良	2000/ 3/ 10	須々木
1996/ 1/ 20	相良漁港	1997/ 3/ 20	洗濯岩	1998/ 9/ 27	洗濯岩		
1996/ 1/ 27	相良漁港	1997/ 3/ 29	相良漁港	1998/ 9/ 27	御前崎		
1996/ 2/ 10	相良	1997/ 3/ 29	須々木	1998/ 10/ 4	八木沢		
1996/ 2/ 10	洗濯岩	1997/ 4/ 12	相良漁港	1998/ 11/ 1	相良		
1996/ 2/ 17	相良漁港	1997/ 4/ 12	須々木	1998/ 11/ 29	相良		
1996/ 2/ 17	須々木	1997/ 4/ 12	洗濯岩	1998/ 11/ 29	須々木		
1996/ 2/ 24	相良漁港	1997/ 4/ 19	土肥漁港	1998/ 12/ 13	相良漁港		
1996/ 2/ 24	洗濯岩	1997/ 4/ 19	八木沢	1998/ 12/ 13	洗濯岩		
1996/ 3/ 2	相良漁港	1997/ 4/ 19	戸田港	1998/ 12/ 23	相良漁港		
1996/ 3/ 16	相良漁港	1997/ 4/ 19	江梨	1998/ 12/ 23	御前崎		
1996/ 3/ 16	相良漁港	1997/ 4/ 26	相良	1999/ 1/ 9	相良漁港		
1996/ 3/ 16	洗濯岩	1997/ 4/ 26	須々木	1999/ 1/ 23	相良漁港		
1996/ 3/ 23	相良漁港	1997/ 4/ 26	洗濯岩	1999/ 1/ 23	洗濯岩		
1996/ 3/ 31	相良漁港	1997/ 5/ 17	相良	1999/ 2/ 6	相良漁港		
1996/ 3/ 31	須々木	1997/ 5/ 17	洗濯岩	1999/ 2/ 6	洗濯岩		
1996/ 4/ 6	土肥漁港	1997/ 9/ 20	八木沢	1999/ 2/ 20	相良漁港		
1996/ 4/ 6	八木沢	1997/ 9/ 20	江梨	1999/ 2/ 20	洗濯岩		
1996/ 4/ 6	戸田漁港	1997/ 9/ 27	相良	1999/ 3/ 6	相良漁港		
1996/ 4/ 6	江梨	1997/ 9/ 27	洗濯岩	1999/ 3/ 6	相良		
1996/ 4/ 13	相良漁港	1997/ 9/ 27	御前崎	1999/ 3/ 6	須々木		
1996/ 4/ 13	須々木	1997/ 10/ 4	八木沢	1999/ 3/ 14	相良		
1996/ 4/ 20	土肥漁港	1997/ 10/ 4	戸田漁港	1999/ 3/ 27	須々木		
1996/ 4/ 20	八木沢	1997/ 10/ 4	江梨	1999/ 3/ 27	洗濯岩		

表2 相模湾における絶滅危惧海産軟体動物の評価 (池田ほか, 2001) とそれらの駿河湾内における採集記録. 生息環境は, 池田ほか (2001) による. 採集場所で「相良」と記述のあるのは, 「相良海岸」あるいは「相良漁港」を指す.

Table 2 Sampling records of threatened marine mollusks in Sagami Bay with assessments of the severity of the threat (Ikeda *et al.*, 2001). Habitat information is based on the data in Sagami Bay (Ikeda *et al.*, 2001). The sampling locality "Sagara" is referred to be "Sagara fishery port" or "the coast around the Sagara fishery port."

#### 腹足類

Family Lottiidae ユキノカサガイ科

*Lottia dorsuosa* (Gould) カモガイ

生息環境: 飛沫帯の岩礁 (比較的潮通しが良好で, 波の影響のある).

相模湾での評価: 減少. 1975年以降激減.

原因: 埋め立てや護岸による生息場の減少. 釣餌としての採取圧.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 採集ノートでの記録のみ.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1983.9.11/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有

生存個体群の有無について調査が必要.

*Nipponacmea gloriosa* (Habe) サクラアオガイ

生息環境: 潮間帯下部の潮通し良好な転石帯.

相模湾での評価: 減少. 1975年以降激減.

原因: 不明. 磯遊びによる石起しなど, 人為的な要因もある.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 採集ノートでの記録のみ.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1997.12.4/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (1個体)

生存個体群の有無について調査が必要.

Family Haliotidae ミミガイ科

*Haliotis (Nordotis) madaka* (Habe) マダカアワビ

生息環境: 潮間帯~水深10mの岩礁.

相模湾での評価: 減少. 1972年頃より激減.

原因: 埋め立て・護岸, ヘドロの蓄積, 海中林の規模縮小.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 採集ノートでの記録のみ.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1991.5.19/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (1個体)

1991.10.19/ 御前崎/ ?/ 無/ 有 (1個体)

生存個体群の有無について調査が必要.

Family Trochidae ニシキウズガイ科

*Omphalius pfeifferi pfeifferi* (Philippi) バテイラ

生息環境: 潮下帯から水深10mの岩礁底.

相模湾での評価: 減少. 1978年頃より激減.

原因: 乱獲. 開発による海中林の減少. 一部海域では磯焼け.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 採集ノートでの記録のみ.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1982.9.26/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)

生存個体群の有無について調査が必要.

*Chlorostoma turbinatum* A. Adams ヘソアキボガイ

生息環境: 潮間帯から水深5mの岩礁にある転石.

相模湾での評価: 減少. 1974年頃より激減.

原因: 汚染による生息環境の減少, 乱獲, 転石地帯の荒廃.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 1976~1996年に, 数個体ずつ採集.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1976.8.29/ 千貫門/ 生/ 有 (4/ 2.0/ 蓋付) / 有

1980.9.15/ 土肥/ ?/ 無/ 有

1991.9.14/ 御前崎/ ?/ 無/ 有

1991.9.21/ 御前崎/ ?/ 無/ 有

1992.5.30/ 御前崎/ 生/ 有 (2/ 2.0/ 蓋付1) / 無

1992.11.13/ 御前崎/ ?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無) / 無

1994.4.16/ 八木沢/ ?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無) / 無

1996.9.21/ 江梨/ 死/ 無/ 有 (死殻)

個体数の状況について現地調査の要有.

*Umbonium moniliferum* (Lamarck) イボキサゴ

生息環境: 潮間帯の砂泥底.

相模湾での評価: 消滅. 近年の記録がない.

原因: 干潟などの生息場の減少. 底質・水質等の変化.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 記録無.

Family Neritidae アマオブネガイ科

*Clithon retropicta* (Martens) イシマキガイ

生息環境: 河口部の汽水域.

相模湾での評価: 消滅寸前. 極限られた地域のみ生息を確認.

原因: 本種の生活史に対応できる環境が消滅寸前.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 1979~1996年にかけて, 相良・戸田・八木沢で数個体採取.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1979.8.25/ 戸田/ ?/ 有 (1/ 1.2/ 蓋無) / 無

1979.10.28/ 相良/ ?/ 有 (5/ 0.8~1.5/ 蓋無) / 無

1979.11.4/ 相良/ ?/ 有 (4/ 1.0~1.3/ 蓋無) / 無

1980.5.24/ 八木沢/ ?/ 有 (2/ 1.0~1.3/ 蓋無) / 無

1980.9.15/ 八木沢/ ?/ 有 (1/ 1.3/ 蓋無) / 無

1983.1.18/ 八木沢/ ?/ 有 (2/ 1.5~1.8/ 蓋無) / 無

1983.3.19/ 八木沢/ ?/ 有 (3/ 1.0~1.8/ 蓋無) / 無

1990.6.9/ 八木沢/ ?/ 有 (2/ 1.0/ 蓋無) / 無

1994.4.16/ 八木沢/ ?/ 有 (4/ 0.8~1.3/ 蓋無) / 有 (3個体)

1994.7.1/ 八木沢/ ?/ 有 (1/ 1.2/ 蓋無) / 無

1996.6.8/ 八木沢/ ?/ 有 (1/ 1.3/ 蓋無) / 有

個体数の状況, 生存について現地調査の要有.

*Clithon faba* (Sowerby) カノコガイ

生息環境: 河口部の汽水域. 1970年以降ほとんど記録されず.

相模湾での評価: 消滅寸前.

原因: 河口部のコンクリートによる三面護岸による生息場の減少.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録無.

寺田coll.: 採集ノートでの記録のみ.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1979.8.25/ 戸田/ 生/ 無/ 有 (生貝1)

1980.6.8/ 相良海岸/ ?/ 無/ 有

生存について戸田と相良海岸で調査が必要.

*Neritina (Dostia) cornucopia* (Benson) ヒロクチカノコ

生息環境: 河川河口部, アシ原内.

相模湾での評価: 消滅. 生息していた正確な年代は不明.

原因: 言及なし.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録無.

寺田coll.: 記録無.

Family Phenacolepadidae ユキスズメガイ科

*Phenacolepas (Cinnalepeta) pulchella* (Lischke) ミヤコドリ

生息環境: 干潟の岩礁.

相模湾での評価: 消滅. 石山 (1966) 以降の採集記録はほとんどない.

原因: 干潟の消失.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 記録無.

Family Cerithiidae オニノツノガイ科

*Cerithium dialaecum* Philippi コベルトカニモリ (=コオロギ)

生息環境: 潮間帯の岩礁.

相模湾での評価: 消滅. 1976年頃より急激に減少, 1978年に消滅.

原因: 化学物質による環境汚染が考えられる.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 1980-1997年にかけて, 西伊豆側で採集.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1980.5.24/ 土肥/ ?/ 有 (1/ 1.8/ 蓋無, 保存良) / 無

1980.9.5/ 八木沢/ ?/ 有 (1/ 2.5/ 蓋無, 保存良) / 無

1983.3.19/ 八木沢/ ?/ 有 (1/ 2.3/ 蓋無, 保存良) / 有

1994.4.16/ 江梨/ ?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無, 保存良) / 無

1995.10.22/ 八木沢/ 死/ 有 (1/ 2.3/ 蓋無, 保存良) / 有 (死殻)

1996.6.8/ 八木沢/ 死/ 無/ 有 (死殻)

1997.4.19/ 江梨/ ?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無, 少し摩耗) / 無

個体数の状況, 生存について現地調査の要有.

*Clypeomorus bifasciata* (Sowerby) カヤノミカニモリ

生息環境: 潮間帯の岩礁, 転石一礫底.

相模湾での評価: 消滅. 1970年頃まで多産, 1975年以降生貝の記録無.

原因: 言及なし.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 記録無.

*Rhinoclavis (Rhinoclavis) sinensis* (Gmelin) トウガタカニモリ

生息環境: 潮間帯の岩礁一礫底.

相模湾での評価: 消滅. 1970年以降激減, 現在生貝は全く見られず.

原因: 言及なし.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録無.

寺田coll.: 記録無.

*Rhinoclavis (Proclava) kochi* (Philippi) カニモリガイ

生息環境: 潮間帯から水深10mの砂底.

相模湾での評価: 消滅寸前. 1970年頃までは多産, 以降生貝の記録なし.

原因: 不明.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 1979-1994年にかけて, 相良で数個体ずつ採集.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1977.11.6/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 3.0/ 蓋無, 保存良) / 無

1980.2.17/ 相良漁港/ 死/ 無/ 有 (死殻1)

1980.2.24/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 4.0/ 蓋無, 保存良) / 無

1982.7.11/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 3.7/ 蓋無, 保存良) / 無

1982.8.1/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 3.2/ 蓋無, 保存良) / 無

1992.11.1/ 相良漁港/ 死/ 有 (1/ 2.8/ 蓋無, 保存良) / 有 (死殻1)

1994.5.24/ 袖師/ ?/ 有 (2/ 2.0, 4.0/ 蓋無, 保存良) / 無

個体数の状況, 生存について現地調査の要有.

Family Batillariidae ウミノナ科

*Batillaria zonalis* (Bruguère) イボウミノナ

生息環境: 内湾の干潟・河口部泥干潟.

相模湾での評価: 消滅. 近年, 生貝の記録なし.

原因: 言及なし.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 採集ノートでの記録のみ.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1999.10.15/ 須々木/ 死/ 無/ 有 (ヤドカリ2個体)

周辺沿岸域の調査が望まれるが, おそらく消滅.

*Batillaria multififormis* (Lischke) ウミノナ

生息環境: 内湾の干潟.

相模湾での評価: 消滅寸前. まれに生き残った個体を観察できるのみ.

原因: 埋立開発による生息場の消失. 1970年代以降原因不明で減少.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 死殻のみまれに採集.

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1980.1.28/ 下田今井漁港/ ?/ 有 (1/ 2.4/ 蓋無, 磨耗) / 有 (2個体)

1980.9.15/ 土肥/ ?/ 無/ 有

1983.10.15/ 洗濯岩\*/ 死?/ 有 (1/ 2.2/ 蓋無, 磨耗) / 有 (1個体)

\*もしくは地頭方漁港

1996.6.8/ 八木沢/ ?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無, 保存良) / 無

周辺沿岸域の調査が望まれるが, おそらく消滅.

Family Potamididae フトヘナタリ科

*Cerithidea (Cerithidea) rhizophorarum* A. Adams フトヘナタリ

生息環境: 河口部のアシ原.

相模湾での評価: 消滅. 1970年中頃から激減, 1980年代前半には消滅.

原因: アシ原の消失.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録無.

寺田coll.: 記録無.

*Cerithidea (Cerithideopsilla) cingulata* (Gmelin) ヘナタリ

生息環境: 潮間帯の干潟および河口域.

相模湾での評価: 消滅. 1970年代中頃から激減.

原因: 言及なし.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録無.

寺田coll.: 記録無.

*Cerithidea (Cerithideopsilla) djadjariensis* (Martin) カワアイ

生息環境: 潮間帯の内湾砂泥底.

相模湾での評価: 消滅. 細谷 (1954) 以降, 生貝の記録なし.

原因: 言及なし.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 記録無.

Family Assimineidae カワザンショウガイ科

*Assiminea japonica* Martens カワザンショウガイ

生息環境: 河口域のアシ原, および朽木の下.

相模湾での評価: 減少.

原因: アシ原が狭められている.

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有.

寺田coll.: 記録無.

## Family Strombidae ソデボラ科

*Strombus (Doxander) japonicus* Reeve シドロガイ

生息環境：潮間帯から水深20mの砂底。

相模湾での評価：減少。1970年頃までは多く採集、1980年頃からは急減。

原因：ヘドロの堆積しない砂底環境の減少。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1976—1996年にかけて、相良漁港で数個体ずつ採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載

1976.12.19/ 相良漁港/ 死/ 無/ 有（死殻）

1977.3.13/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（1個体）

1978.2.12/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 6.0/ 蓋無、保存良）/ 有（生貝1）

1978.2.25/ 相良漁港/ 生/ 有（2/ 5/ 0, 6.0/ 蓋無、保存良）/ 有（生貝1）

1978.3.5/ 相良漁港/ 生/ 有（3/ 6.0—6.5/ 蓋有、保存良）/ 有（生貝3）

1978.6.4/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 6.0/ 蓋有）/ 有（1個体）

1978.7.9/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（1個体）

1979.1.7/ 相良漁港/ ?/ 有（2/ 6.0/ 無、保存良）/ 有（1個体）

1979.4.14/ 相良漁港/ ?/ 有（1/ 6.5/ 蓋無、保存良）/ 無

1979.5.27/ 相良漁港/ 生/ 無/ 有（生貝2）

1979.6.17/ 相良漁港/ 生/ 有（7/ 4.0—6.2/ 蓋有、保存良）/ 有（生貝1）

1979.6.24/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（1個体）

1979.7.22/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 5.0/ 蓋有）/ 有（幼貝1）

1980.6.14/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 5.5/ 蓋有）/ 有（生貝2）

1981.4.19/ 相良漁港/ ?/ 有（1/ 6.8/ 蓋無、保存良）/ 無

1981.6.4/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 7.0/ 蓋有）/ 無

1981.6.14/ 相良漁港/ 生/ 無/ 有（生貝2）

1981.11.22/ 相良漁港/ 死/ 無/ 有（死殻1）

1982.4.18/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 6.0/ 蓋有）/ 有（1個体）

1982.4.18/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（幼貝1）

1982.12.26/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 6.2/ 蓋有）/ 有（生貝1）

1983.1.30/ 相良漁港/ ?/ 有（1/ 6.0/ 蓋無、保存良）/ 無

1983.2.6/ 相良漁港/ 生/ ?/ 有（1/ 5.8/ 軟体部附着?）/ 無

1996.11.23/ 相良漁港/ ?/ 有（1/ 6.0/ 蓋無、保存良）/ 無

1997.4.26/ 相良/ 生/ 無/ 有（生貝1）

現在でも生存の可能性高い。

*Strombus (Dolomena) margaritatus robustus* Sowerby フドロガイ

生息環境：潮間帯から水深10mの砂底。

相模湾での評価：消滅寸前。ここ20年の間に生貝を1個体確認したのみ。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1976—1996年にかけて、相良漁港で1個体ずつ採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載

1976.11.14/ 相良漁港/ 死/ 有（1/ 5.2/ 蓋無、保存良）/ 有（死殻）

1978.2.12/ 相良漁港/ 死/ 有（1/ 5.5/ 蓋無、保存良）/ 有（死殻1）

1980.6.14/ 相良漁港/ 死/ 有（1/ 5.0/ 蓋無、保存良）/ 有（死殻1）

1980.12.7/ 相良漁港/ 死/ 有（1/ 5.5/ 蓋無、保存良）/ 有（死殻1）

1980.12.14/ 相良漁港/ 死/ 有（1/ 6.0/ 殻口につめもの）/ 有（死殻1）

1981.11.22/ 相良漁港/ 死/ 有（1/ 6.0/ 殻口につめもの）/ 有（死殻1）

1996.11.23/ 相良漁港/ 死/ ?/ 有（1/ 1.8/ 蓋無、殻破損、幼貝）/ 無

すべて死殻なので絶滅も危惧。

## Family Naticidae タマガイ科

*Cryptonatica adamsiana* (Dunker) アダムズタマガイ

生息環境：内湾的環境の潮間帯から水深20mの干潟砂泥底。

相模湾での評価：消滅寸前。近年、生貝の記録無、新鮮な死殻有。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録無。

寺田coll.：記録無。

*Natica cernica* Jousseaume ハギノツユ

生息環境：水深10—20mの砂底。

相模湾での評価：消滅寸前。1970年代には打上多数。現在ほとんど見られず。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：死殻のみまれに採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載

1983.4.3/ 相良漁港/ ?/ 有（1/ 0.8/ 蓋無、保存良）/ 無

1998.4.4/ 相良/ 死/ 有（1/ 1.2/ 蓋無、保存良）/ 有（死殻1）

1999.6.5/ 八木沢/ ?/ 有（1/ 1.2/ 蓋無、保存良）/ 無

駿河湾でも消滅寸前か？

*Sinum planulatum* (Récluz) ツツミガイ

生息環境：水深10—20mの砂底。

相模湾での評価：消滅寸前。1970年以降ほとんど記録がない。

原因：底質の変化が要因（?）。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：まれに採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載

1980.5.24/ 八木沢/ ?/ 有（1/ 2.0/ 蓋無、保存良）/ 有（1個体）

1980.8.31/ 相良漁港/ ?/ 有（1/ 2.0/ 蓋無、保存良）/ 無

個体群の変動については評価不能だが、駿河湾でも消滅が危惧される。

## Family Cassidae トウカムリガイ科

*Phalium (Bezoardicella) flammiferum* (Röding) カズラガイ (=ナガカズラガイ)

生息環境：水深10—50mの砂底。

相模湾での評価：減少。1969年頃より激減。

原因：底質の変化。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：標本未確認だが採集ノートに多数記録。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載

1976.9.26/ 相良漁港/ ?/ 未確認/ 有

1977.3.26/ 相良漁港/ ?/ 未確認/ 有（8個体）

1977.5.22/ 洗濯岩/ 生/ 未確認/ 有（生貝幼1）

1977.6.4/ 洗濯岩/ ?/ 未確認/ 有（幼貝1）

1977.9.25/ 洗濯岩/ ?/ 未確認/ 有（幼貝2）

1978.4.2/ 相良漁港/ ?/ 未確認/ 有（20個体）

1978.8.13/ 洗濯岩/ ?/ 未確認/ 有（幼貝1）

1978.11.5/ 地頭方港/ ?/ 未確認/ 有（10個体）

1978.11.12/ 洗濯岩/ ?/ 未確認/ 有（幼貝1）

1979.3.25/ 相良漁港/ 生/ 未確認/ 有（幼貝生1）

1979.5.13/ 地頭方港/ ?/ 未確認/ 有（15個体）

1980.2.10/ 相良漁港/ ?/ 未確認/ 有（幼貝1）

1981.12.12/ 相良漁港/ ?/ 未確認/ 有（1個体）

1982.7.11/ 吉田漁港/ ?/ 未確認/ 有（稚貝1）

1983.7.17/ 洗濯岩/ ?/ 未確認/ 有（幼貝1, 中型2）

1990.9.22/ 御前崎/ ?/ 未確認/ 有（幼貝1）

1991.9.14/ 御前崎/ ?/ 未確認/ 有（幼貝1）

1991.9.22/ 八木沢/ ?/ 未確認/ 有（1個体）

1992.1.28/ 戸田/ ?/ 未確認/ 有（1個体）

1992.6.27/ 御前崎/ ?/ 未確認/ 有（稚貝1）

1995.1.7/ 相良/ ?/ 未確認/ 有（10個体）

1995.10.14/ 相良漁港/ ?/ 未確認/ 有（5個体）

1996.3.2/ 相良漁港/ ?/ 未確認/ 有（幼貝1）

1996.4.27/ 相良漁港/ ?/ 未確認/ 有（幼貝1）

1998.10.4/ 八木沢/ ?/ 未確認/ 有（1個体）

減少傾向は認められない。

## Family Epitoniidae イトカケガイ科

*Gyroscaia (Pomiscalia) lamellosa* (Lamarck) ネジガイ

生息環境：潮間帯～水深10mの岩礁のイソギンチャク類に付着。  
相模湾での評価：減少。

原因：不明。イソギンチャク類の減少傾向に連動。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：1976—1999年に、相良側で採集。99年に生貝確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1976.3.21/ 御前崎/ ?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無, 保存良) / 無  
1977.2.27/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
1977.4.23/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
1977.5.22/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (3個体)  
1977.6.4/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 1.3/ 蓋無, 保存良) / 無  
1977.6.12/ 洗濯岩/ 生/ 有 (2/ 1.5, 1.7/ 蓋有, 注1) / 無  
1977.11.27/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
1978.4.16/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
1978.4.23/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 0.8/ 蓋無, 保存良) / 無  
1978.8.13/ 洗濯岩/ 死/ 無/ 有 (破損2)  
1979.5.13/ 洗濯岩/ 生/ 有 (1/ 2.4/ 蓋有) / 有 (生貝1)  
1979.6.2/ 洗濯岩/ ?/ 有 (3/ 0.8—2.0/ 蓋無, 保存良) / 有 (2個体)  
1979.7.7/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 1.3/ 蓋無, 保存良) / 有 (1個体)  
1979.10.28/ 相良漁港/ ?/ 有 (8/ 0.6—1.8/ 蓋無, 保存良, 注1) / 有 (15個体)  
1980.4.19/ 洗濯岩/ ?/ 有 (2/ 0.8/ 蓋無, 保存良) / 有 (2個体)  
1980.4.27/ 洗濯岩/ ?/ 有 (2/ 0.7—1.2/ 蓋無, 保存良) / 無  
1980.6.8/ 相良/ ?/ 有 (5/ 0.6—1.5/ 蓋無, 保存良, 注1) / 無  
1980.7.12/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 1.3/ 蓋無, 保存良) / 無  
1980.8.31/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 1.8/ 蓋無, 保存良) / 無  
1980.11.8/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 1.7/ 蓋無, 保存良) / 無  
1980.6.2/ 相良/ ?/ 有 (2/ 0.8/ 蓋無, 保存良) / 無  
1980.6.14/ 相良/ ?/ 有 (2/ 0.6—0.8/ 蓋無, 保存良) / 無  
1981.5.23/ 相良海岸/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
1982.10.31/ 相良漁港/ ?/ 有 (2/ 1.0/ 蓋無, 保存良) / 有 (3個体)  
1990.12.15/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 2.2/ 蓋無, 保存良) / 無  
1991.5.19/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 1.5/ 蓋無, 保存良) / 有 (1個体)  
1991.8.10/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 0.8/ 蓋無, 保存良) / 無  
1991.9.27/ 御前崎/ ?/ 有 (2/ 2.0/ 蓋無, 保存良) / 有 (1個体)  
1991.11.10/ 御前崎/ ?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無, 保存良) / 無  
1992.3.5/ 御前崎/ 死/ 無/ 有 (死殻1)  
1992.9.23/ 御前崎/ ?/ 無/ 有 (大成1)  
1997.2.23/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無, 保存良) / 無  
1999.4.10/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無, 保存良) / 無  
1999.4.25/ 洗濯岩/ 生/ 有 (1/ 1.5/ 蓋無, 保存良) / 有 (生貝1)  
1999.5.23/ 洗濯岩/ 生/ 有 (1/ 1.3/ 蓋無, 保存良) / 有 (生貝1)

注1：一部は別種の可能性あり

個体群の規模について現場 (洗濯岩) での調査の要有。

*Epitonium (Papyriscaia) robillardii* Sowerby セキモリ

生息環境：水深5—10mの砂底。

相模湾での評価：減少。1980年頃まで比較的良好。近年、著しく減。

原因：不明。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：記録無。

*Epitonium (Depressiscaia) auritum* (Sowerby) オダマキ

生息環境：潮間帯～水深10mの砂底。

相模湾での評価：減少。1975年頃までよく打上。近年著しく減。

原因：不明。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：1977—1991年にかけて、相良側で採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1977.5.22/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
1978.4.2/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 1.8/ 蓋無, 保存良) / 有 (1個体)  
1980.6.8/ 相良海岸/ ?/ 無/ 有  
1990.12.15/ 洗濯岩/ 死/ 無/ 有 (老成死殻1)  
1991.11.10/ 御前崎/ ?/ 無/ 有 (老成1)  
減少傾向については判定不能。

## Family Muricidae アッキガイ科

*Ceratosomaournieri* (Crosse) イソバシヨウ

生息環境：潮間帯～水深50mの岩礁。

相模湾での評価：減少。1975年頃より激減。10m以深の個体群には、変化なし。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：1976—1992年にかけて、相良側で生貝採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1976.2.1/ 相良漁港/ 生/ 有 (3/ 3.0/ 蓋有) / 無  
1976.8.13/ 洗濯岩/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 蓋有) / 無  
1976.10.4/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 6.0/ 殻口につめもの) / 無  
1976.10.10/ 相良漁港/ 生?/ 有 (2/ 5.0/ 殻口につめもの) / 無  
1976.10.13/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 4.5/ 蓋有) / 無  
1977.10.30/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 4.5/ 蓋有) / 無  
1978.3.5/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 蓋有) / 無  
1979.3.5/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.5/ 蓋有) / 無  
1979.3.11/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 蓋有) / 無  
1979.3.18/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 4.5/ 蓋有) / 無  
1979.4.14/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 4.0/ 蓋有) / 無  
1979.11.24/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 4.5/ 蓋無, 保存良) / 無  
1979.12.16/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 4.0/ 殻口につめもの) / 無  
1981.2.21/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 5.0/ 蓋有) / 無  
1981.8.24/ 石廊崎港/ ?/ 有 (1/ 3.0/ 蓋無, 保存悪) / 無  
1992.3.14/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.0/ 蓋有) / 有 (1個体)  
1993.12.5/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 5.0/ 殻口につめもの) / 無  
1998.9.27/ 相良/ ?/ 無/ 有 (2個体)

深場の個体群は生存。洗濯岩の潮間帯の個体群については要調査。

*Chicoreus (Chicoreus) asianus* Kuroda オニサザエ

生息環境：潮間帯～水深30mの岩礁。

相模湾での評価：減少。かつて潮間帯岩礁で観察、現在エビ網などで希に採集。

原因：インボセックスによる可能性。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：1976—1981年に、西伊豆側で採集。相良側で1995年に生貝を確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1976.9.17/ 下田今井漁港/ ?/ 無/ 有  
1977.10.14/ 下田今井漁港/ ?/ 無/ 有 (幼貝含)  
1977.11.22/ 下田今井漁港/ 生/ 有 (1/ 9.0/ 蓋有) / 無  
1979.12.20/ 下田今井漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
1981.12.7/ 下田今井漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
1995.10.7/ 土肥漁港/ 生/ 有 (1/ 15.0/ 蓋有) / 無  
1995.10.22/ 土肥漁港/ 生/ 無/ 有 (生貝大1個)  
減少傾向については判定不能。

*Coralliophila squamoisissima* (Smith) カゴメサンゴヤドリ

生息環境：潮間帯から水深10mに生息する大型の刺胞動物に寄生。

相模湾での評価：消滅寸前。近年、激減。

原因：環境悪化。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：採集ノートでの記録のみ。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1992.4.18/ 相良漁港/ 死? / 無/ 有 (破損1)  
 1992.5.2/ 相良漁港/ 死? / 無/ 有 (破損1)  
 個体群の変動については評価不能だが、駿河湾でも消滅が危惧される。

#### Family Buccinidae エゾバイ科

##### *Babylonia japonica* (Reeve) バイ

生息環境：潮下帯～水深10mの砂泥底。

相模湾での評価：消滅。1960年代多産。1970年以降激減。1980年代以降ほぼ消滅。

原因：インボセックス現象を報告（堀口，1998）。漁による採集圧もあり？

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1976—1992年に、相良側で生貝確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1976.10.13/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.0/ 蓋有) / 無

1978.2.12/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 6.0, 6.5/ 蓋有) / 無

1979.2.10/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 7.0/ 蓋有) / 無

1979.9.24/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 7.0, 6.2/ 蓋有) / 無

1981.5.9/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 7.5/ 蓋有) / 無

1980.9.23/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (大きな個体)

1984.3.18/ 吉田港/ 生/ 有 (1/ 7.8/ 蓋有) / 無

1992.11.28/ 須々木/ 生/ 有 (1/ 7.0/ 蓋有) / 無

1990年代前半までは少なくとも生存。

##### *Siphonalia fusoides* (Reeve) トウイト

生息環境：水深10—50mの砂泥底。

相模湾での評価：消滅寸前。1970年代多産。最近では生貝記録はほとんどなし。

原因：インボセックスによる激減と推定。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1977—1999年に、相良側で生貝を確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1977.2.20/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 蓋有) / 無

1978.1.29/ 相良漁港/ ? / 無/ 有

1978.2.12/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 4.8/ 蓋有) / 無

1978.3.5/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 蓋有) / 無

1980.4.26/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 5.0, 4.7/ 蓋有) / 無

1981.2.28/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 蓋有) / 無

1982.1.30/ 用宗/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 蓋有) / 無

1983.1.30/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 蓋有) / 無

1983.3.12/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 5.3/ 蓋無, 保存良) / 無

1983.11.13/ 吉田港/ ? / 無/ 有

1986.5.11/ 吉田港/ 生/ 有 (2/ 4.5, 5.0/ 蓋有) / 無

1997.2.1/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 4.3/ 蓋無, 保存良) / 無

1998.4.4/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 4.0/ 蓋無, 保存良) / 無

1999.3.14/ 相良漁港\*/ 生/ 有 (3/ 1.6—4.0/ 蓋有) / 有 (生貝幼)

\*水深150, 180m

1999.12.8/ 相良漁港/ ? / 無/ 有

現在でも駿河湾に生息している可能性が高い。

##### *Siphonalia cassidariaeformis* (Reeve) ミクリガイ

生息環境：水深10—50mの砂泥底。

相模湾での評価：消滅寸前。1970年代に大量採取。最近ほとんど見られず。

原因：インボセックスによる激減と推定。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1977—1997年にかけて、相良側で採集。1991年まで生貝を確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1978.11.26/ 洗濯岩/ ? / 有 (1/ 3.5/ 蓋無, 保存良) / 無

1979.2.10/ 相良/ ? / 有 (1/ 3.8/ 蓋無, 保存良) / 無

1979.9.24/ 相良/ 生/ 有 (1/ 4.0/ 蓋有) / 無

1980.2.3/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 3.5/ 蓋無, 保存良) / 有 (1個体)

1980.2.4/ 相良/ ? / 有 (1/ 4.1/ 蓋無, 保存良) / 無

1980.5.4/ 相良/ ? / 有 (4/ 1.0/ 蓋無, 保存良) / 無

1980.11.8/ 相良/ ? / 有 (1/ 3.8/ 蓋無, 保存良) / 無

1980.12.30/ 相良/ ? / 有 (1/ 4.0/ 蓋無, 保存良) / 無

1981.5.31/ 相良/ 生/ 有 (1/ 3.5/ 蓋有) / 有 (200m)

1981.6.4/ 相良/ ? / 有 (1/ 2.1/ 蓋無, 保存良) / 無

1981.11.22/ 相良/ ? / 有 (1/ 4.0/ 蓋無, 保存良) / 無

1981.11.26/ 相良/ 生/ 有 (1/ 2.7/ 蓋有) / 無

1982.12.26/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.4/ 蓋有) / 有 (1個体)

1983.1.30/ 相良/ ? / 有 (1/ 1.8/ 蓋無, 保存良) / 無

1983.4.3/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (変型1個体)

1989.1.22/ 相良/ ? / 有 (1/ 2.8/ 蓋無, 磨耗) / 有 (60m, 礫)

1989.3.25/ 相良/ ? / 有 (1/ 2.5/ 蓋無, 保存良) / 有 (80m)

1991.4.13/ 洗濯岩/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 蓋有) / 無

1991.11.30/ 洗濯岩/ 生/ 有 (1/ 4.0/ 蓋有) / 有 (1個体)

1992.11.1/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (1個体)

1993.1.16/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (丸型1個体)

1995.9.23/ 八木沢/ ? / 有 (1/ 5.5/ 蓋無, 保存良) / 無

1997.2.1/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (1個体)

1990年代前半までは少なくとも生存。

##### *Cantharus (Pollia) mollis* (Gould) シワホラダマシ

生息環境：潮間帯から水深10mの岩礁。

相模湾での評価：消滅。1970年代前半に潮間帯岩礁で観察。現在全く見られず。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1978—1999年にかけて、相良側で採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1978.3.26/ 洗濯岩/ 生/ 無/ 有 (生貝3)

1979.3.18/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 2.5/ 蓋有) / 無

1979.9.16/ 洗濯岩/ ? / 有 (1/ 3.0/ 蓋無, 保存良) / 無

1979.12.9/ 洗濯岩/ ? / 有 (2/ 0.8/ 蓋無, 保存良) / 無

1982.11.14/ 地頭方港/ ? / 有 (1/ 1.5/ 蓋無, 保存良) / 無

1998.2.7/ 御前崎/ ? / 無/ 有 (1個体)

1999.9.30/ 御前崎/ ? / 無/ 有 (1個体)

1979年まで生貝を確認。洗濯岩等の潮間帯での個体群の状況について要調査。

#### Family Nassariidae ムシロガイ科

##### *Reticunassa hiradoensis* (Pilsbry) ウネムシロ

生息環境：水深10—50mの砂泥底。

相模湾での評価：消滅。1975年以降記録なし。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録無。

寺田coll.：記録無。

#### Family Melongenidae テングニシ科

##### *Hemifusus tuba* (Gmelin) テングニシ

生息環境：水深10—50mの砂泥・砂底。

相模湾での評価：減少。三浦半島周辺で激減。湾中央部～西部沖合で現存。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1976—1998年に、相良漁港を中心に生貝を確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1976.4.3/ 用宗漁港/ ? / 有 (1/ 13.0/ 蓋無, やや磨耗) / 無

1976.9.26/ 相良漁港/ ? / 無/ 有

1977.2.13/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 7.5, 10.0/ 蓋有) / 無

1977.3.6/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (中型1個体)

1977.3.20/ 幸丸, 注1/ 生/ 有 (1/ 24.0/ 蓋有) / 無

1977.4.17/ 幸丸, 注1/ 生/ 有 (1/ 15.0/ 蓋有) / 無

1977.11.6/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 15.0/ 蓋有) / 無  
 1977.11.20/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 17.0/ 蓋有) / 無  
 1979.7.22/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 7.5/ 蓋有) / 無  
 1979.5.13/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 12.0/ 蓋有) / 無  
 1980.3.8/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 7.0, 13.0/ 蓋有) / 無  
 1980.3.30/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 3.5/ 蓋有) / 無  
 1980.11.23/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.2/ 蓋有) / 無  
 1981.10.18/ 相良漁港/ 生/ 有 (4/ 4.0-6.0/ 一部蓋有) / 有 (幼貝4)  
 1986.4.13/ 相良/ 生/ 有 (1/ 2.0/ 蓋有) / 無  
 1989.1.22/ 相良/ 生/ 有 (1/ 2.5/ 蓋有) / 無  
 1992.12.9/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (5個体)  
 1992.12.23/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (10個体)  
 1992.12.23/ 吉田港/ ?/ 無/ 有 (5個体)  
 1994.3.21/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (2個体)  
 1995.1.7/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 6.0/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1995.12.10/ 相良漁港/ 生/ 無/ 有 (3個体食す)  
 1996.3.23/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 2.2/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1997.2.1/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 2.5/ 蓋有) / 有 (稚生貝1)  
 1997.3.20/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 4.5/ 蓋無, 保存良) / 有 (稚貝1)  
 1997.10.10/ 相良/ 生/ 無/ 有 (大1個食す)  
 1997.12.21/ 相良/ 生/ 無/ 有 (3個体食す)  
 1998.1.24/ 相良/ ?/ 無/ 有 (大1個体)  
 1998.11.29/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 13.0/ 蓋有) / 無  
 注1: 漁港不明  
 おそらく深場に健全個体群存在。減少傾向については判定不能。

## Family Fasciolariidae イトマキボラ科

*Fusinus tuberosus* (Reeve) ミクリナガニシ

生息環境: 潮間帯下部-水深10mの砂底。  
 相模湾での評価: 減少。1980年頃まで潜水でかなり確認。最近激減。  
 \*近似種ツノマタナガニシ *F. igrirostratus* (Smith) は、減少せず。  
 原因: 言及なし。  
 駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.: 記録無。

*Pleuroploca trapezium paeteli* (Strebel) ヒメイトマキボラ

生息環境: 水深5-30mの礫底・岩礁。  
 相模湾での評価: 減少。1975年頃より激減。現在では希。  
 原因: 言及なし。  
 駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.: 1976-1992年に相良漁港で生貝を確認。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1976.9.17/ 下田今井漁港/ ?/ 無/ 有  
 1976.10.4/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有  
 1977.1.23/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 12.5/ 蓋有, 幼貝) / 有 (幼貝)  
 1977.1.30/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 7.0/ 蓋有) / 無  
 1977.10.1/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (3個体)  
 1977.10.16/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 10.5/ 蓋有) / 有 (2個体)  
 1977.11.13/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 15.0, 14.0/ 蓋有) / 無  
 1978.10.10/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 9.0/ 蓋有) / 無  
 1978.10.23/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
 1979.9.24/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 9.5/ 蓋有) / 有 (4個体)  
 1981.11.29/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (幼貝1)  
 1992.10.17/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 12.0/ 蓋無, 保存良) / 有 (未成1)  
 1992.10.25/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 12.0/ 蓋有) / 有 (1個体)  
 少なくとも1990年代前半までは生存。

## Family Olividae マクラガイ科

*Olivella japonica* Pilsbry ホタルガイ

生息環境: 潮下帯~水深10mの砂底。  
 相模湾での評価: 減少。1970年頃より激減。死殻は多数採集。新鮮個体は少。  
 原因: 底質のヘドロ化による生息環境の変化。  
 駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.: 1970年代末は多数個体採取されるが、それ以降少なくは死殻。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1977.3.6/ 相良漁港/ 生?/ 有 (3/ 5.0/ 蓋無, 保存良) / 有 (3個体) 注1  
 1978.4.2/ 洗濯岩/ ?/ 有 (9/ 0.7-1.5/ 蓋無, 保存良) / 有 (多数)  
 1980.6.8/ 相良海岸/ ?/ 無/ 有  
 1980.9.23/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 1.5/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1981.7.5/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 0.4/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1990.11.3/ 御前崎/ 死?/ 有 (1/ 1.7/ 蓋無, やや磨耗) / 無  
 1991.10.5/ 御前崎/ 死?/ 有 (2/ 1.8, 1.5/ 蓋無, やや磨耗) / 有 (1個体)  
 1991.12.14/ 御前崎/ 死?/ 有 (1/ 2.0/ 蓋無, やや磨耗) / 無  
 1992.1.2/ 御前崎/ 死?/ 有 (1/ 1.3/ 蓋無, やや磨耗) / 無  
 1992.5.9/ 御前崎/ 死?/ 有 (1/ 1.1/ 蓋無, やや磨耗) / 無  
 1998.2.7/ 御前崎/ 死?/ 有 (1/ 1.7/ 蓋無, やや磨耗) / 無  
 1998.3.7/ 御前崎/ 死?/ 有 (2/ 1.5/ 蓋無, やや磨耗) / 有 (1個体)  
 1998.3.7/ 御前崎/ ?/ 無/ 有 (黄色1個体)  
 1999.6.5/ 八木沢/ ?/ 有 (1/ 1.0/ 蓋無, 保存良) / 無  
 注1: ヒトデロ腔中より  
 減少が懸念される。

*Olivella fulgurata* (A. Adams and Reeve) ムシボタル

生息環境: 潮下帯~水深10mの砂底。  
 相模湾での評価: 減少。  
 原因: 底質のヘドロ化による生息環境の変化。  
 駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.: 1977-1999年にかけて、相良側で数個体ずつ採集。生貝はまれ。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1977.6.12/ 洗濯岩/ 死?/ 有 (2/ 0.8, 1.0/ 蓋無, やや磨耗) / 無  
 1977.11.6/ 洗濯岩/ 死?/ 有 (2/ 0.9, 1.2/ 蓋無, やや磨耗) / 無  
 1978.7.9/ 洗濯岩/ 死?/ 有 (1/ 1.2/ 蓋無, やや磨耗) / 無  
 1979.4.14/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 1.2/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1980.5.4/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 0.8/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1980.6.8/ 相良海岸/ ?/ 有 (2/ 0.4, 0.8/ 蓋無, 保存良) / 有  
 1980.6.14/ 相良/ ?/ 有 (2/ 1.0, 1.2/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1980.2.6 or 9/ 相良/ ?/ 有 (4/ 0.5-1.0/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1982.11.28/ 地頭方港/ 死?/ 有 (1/ 1.5/ 蓋無, やや磨耗) / 無  
 1991.10.5/ 御前崎/ 死?/ 有 (1/ 1.4/ 蓋無, やや磨耗) / 有 (1個体)  
 1992.3.5/ 御前崎/ ?/ 無/ 有  
 1992.10.10/ 相良漁港/ 生/ 無/ 有 (生貝1)  
 1996.11.23/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 0.8/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1999.10.29/ 須々木/ ?/ 有 (1/ 0.9/ 蓋無, 保存良) / 無  
 減少が懸念される。

*Olivella signata* (Lischke) ハナアヤメ

生息環境: 潮下帯から水深10mの砂底。  
 相模湾での評価: 減少。1970年後半より激減。  
 原因: 言及なし。  
 駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録無。  
 寺田coll.: 記録無。

*Olivella spreta* Gould ササノミ

生息環境: 潮下帯から水深10mの砂底。  
 相模湾での評価: 減少。三浦半島で局所的に確認されるも1970年後半より激減。  
 原因: 言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。  
寺田coll.：記録無。

Family Costellariidae ツクシガイ科

*Costellaria unifasciata* (Wood) ハナカゴオトメ

生息環境：水深10–20mの岩礁域にある砂底。  
相模湾での評価：減少。1975年以降、急激に打上も見られなくなった。  
原因：言及なし。  
駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
寺田coll.：記録無。

*Costellaria rustica* (Reeve) ベニオトメフデ

生息環境：水深10–20mの砂底。  
相模湾での評価：減少。1960年代によく採集。死殻が打ち上がる程度となった。  
原因：言及なし。  
駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。  
寺田coll.：記録無。

*Costellaria zelotypha* (Reeve) ヒシオトメ

生息環境：潮間帯から水深20mの砂礫底。  
相模湾での評価：減少。1975年頃から減少。死殻は打ちあがるが良質なもの稀。  
原因：言及なし。  
駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。  
寺田coll.：記録無。

Family Conidae イモガイ科

*Conus (Stephanoconus) pauperculus* Sowerby ベニイモ

生息環境：水深10mの岩礁域。  
相模湾での評価：消滅寸前。最近では全く見られなくなった。  
原因：言及なし。  
駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。  
寺田coll.：1975–1999年に、相良側を中心に数個体ずつ、ほぼ死殻？  
採集日/場所/生死/収蔵標本(数/殻長(cm)/状態)/ノート記載  
1977.5.22/洗濯岩/死?/有(1/2.5/蓋無, やや磨耗)/無  
1977.6.4/洗濯岩/死?/有(1/3.5/蓋無, やや磨耗)/無  
1977.7.?/千貫門/死/有(1/1.8/蓋無, 磨耗)/無  
1977.9.25/洗濯岩/死?/有(1/3.0/蓋無, やや磨耗)/無  
1977.11.6/洗濯岩/死?/有(1/2.0/蓋無, やや磨耗)/無  
1978.9.17/洗濯岩/死/有(1/1.3/蓋無, 磨耗)/無  
1978.10.10/洗濯岩/死/有(1/4.0/蓋無, 磨耗)/無  
1979.4.29/洗濯岩/死/有(1/1.3/蓋無, 磨耗)/無  
1979.10.28/相良/死?/有(1/3.2/蓋無, やや磨耗)/無  
1982.10.31/相良漁港/?/無/有(幼貝1)  
1990.9.29/御前崎/?/無/有(1個体)  
1990.10.19/御前崎/死/有(1/2.5/蓋無, 磨耗)/無  
1990.10.27/御前崎/死/有(2/2.5, 3.3/蓋無, 磨耗)/無  
1991.10.5/御前崎/死?/有(1/3.5/蓋無, やや磨耗)/無  
1991.11.10/御前崎/死?/有(2/2.7, 3.2/蓋無, やや磨耗)/有(1個体)  
1991.11.22/御前崎/死?/有(2/2.7, 3.2/蓋無, やや磨耗)/有(2個体)  
1991.12.14/御前崎/死?/有(1/2.8/蓋無, やや磨耗)/無  
1992.1.25/御前崎/死?/有(1/3.0/蓋無, やや磨耗)/有(1個体)  
1992.11.13/御前崎/死?/有(1/3.6/蓋無, やや磨耗)/有(1個体)  
1992.12.26/御前崎/死?/有(1/4.0/蓋無, やや磨耗)/有(稚貝1)  
1994.1.15/御前崎/死?/有(1/3.7/蓋無, やや磨耗)/無  
1997.10.19/洗濯岩/死/有(1/2.2/蓋無, 磨耗)/有(1個体)  
1997.11.30/洗濯岩/死/有(1/3.2/蓋無, 磨耗)/無  
1999.1.23/洗濯岩/死/有(1/3.5/蓋無, 磨耗)/有(1個体)  
波部ほか (1986) には記録ないがかつては駿河湾に生存。

*Conus (Chelyconus) fulmen* Reeve ベッコウイモ

生息環境：潮間帯から水深50mの岩礁域・砂礫底。  
相模湾での評価：減少。かつては磯でも大量に見られた。1978年頃より激減。  
\*キラベッコウイモ *C. fulmen forma kirai* Kurodaは、やや深場で現在も採集。  
原因：不明。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：1990年代後半まで、相良側・西伊豆側で生貝を採集。

採集日/場所/生死/収蔵標本(数/殻長(cm)/状態)/ノート記載  
1976.5.?/御前崎/生?/有(2/7.3/蓋無, 殻皮有), 注1/無  
1976.10.10/相良/生?/有(1/5.0/蓋無, 殻皮有)/無  
1977.6.25/雲見前浜/生/有(7/2.3–5.5/蓋無, 殻皮有)/有(生貝多)  
1977.9.17/伊豆稲取/生?/有(1/3.5/蓋無, 殻皮有), 注1/無  
1977.12.25/相良漁港/生?/有(1/5.5/蓋無, 殻皮有)/有(1個体)  
1978.4.9/相良漁港/生?/有(1/5.8/蓋無, 殻皮有)/無  
1979.2.5/相良漁港/?/無/有(1個体)  
1979.3.18/相良漁港/生/有(1/7.5/蓋無, 殻皮有)/有(生貝大1)  
1979.9.24/相良漁港/生/有(1/7.5/蓋有, 殻皮有)/有(生貝1)  
1979.10.14/相良漁港/生/有(1/6.0/蓋無, 殻皮有), 注1/有(生貝1)  
1979.10.27/相良漁港/生?/有(1/6.0/蓋無, 殻皮有)/有(1個体)  
1979.11.24/相良漁港/?/無/有  
1980.1.6/相良漁港/?/無/有(1個体)  
1980.1.12/相良漁港/生?/有(1/4.2/蓋無, 殻皮有)/有(幼貝1)  
1980.6.8/相良海岸/?/無/有(稚貝)  
1980.9.23/相良漁港/生?/有(3/6.0–8.0/蓋無, 殻皮有)/有(3個体)  
1980.10.5/相良漁港/生/有(1/5.5/蓋無, 殻皮有)/有(生貝1)  
1980.11.23/相良漁港/生?/有(2/4.5, 5.0/蓋無, 殻皮有)/有(中2)  
1980.11.30/相良漁港/生?/有(2/5.2, 5.5/蓋無, 殻皮有)/有(2個体)  
1981.2.21/相良漁港/生?/有(1/7.0/蓋無, 殻皮有)/無  
1981.5.2/相良漁港/生?/有(1/7.5/蓋無, 殻皮有\*)/有(1個体)  
\*軟体部残存  
1981.10.18/相良漁港/生/有(1/6.9/蓋無, 殻皮有)/有(生貝1)  
1981.10.25/相良漁港/生/有(1/6.5/蓋有, 殻皮有)/有(生貝1)  
1981.11.8/相良漁港/?/無/有(奇形1)  
1981.12.12/相良漁港/死/有(1/6.0/蓋無, 殻皮有)/有(破損1)  
1983.1.18/八木沢/?/無/有(1個体)  
1983.7.2/相良漁港/生/無/有(生貝1)  
1983.9.11/洗濯岩/?/無/有(1個体)  
1983.9.23/八木沢/?/無/有(1個体)  
1984.7.2/相良漁港/生/有(1/4.8/蓋有, 殻皮有)/無  
1990.10.28/八木沢/生?/無/有  
1991.4.29/相良/生/有(1/5.5/蓋有, 殻皮有)/無  
1991.5.25/洗濯岩/生?/有(1/5.5/蓋無, 殻皮有)/無  
1991.5.28/八木沢/生?/有(1/4.5/蓋無, 殻皮有)/有(1個体)  
1991.7.20/相良(300m)/生/無/有(生貝2)  
1991.7.29/相良/生?/有(2/5.5/蓋無, 殻皮有)/無  
1991.9.23/相良/生/無/有(生貝1)  
1991.11.10/御前崎/生?/有(1/6.0/蓋無, 殻皮有)/無  
1991.12.7/相良/?/無/有(1個体)  
1991.12.14/相良漁港/生/有(2/6.0, 6.5/蓋無, 殻皮\*)/有(2個体)  
\*軟体部残存  
1992.4.25/相良漁港/生?/有(1/5.5/蓋無, 殻皮有)/無  
1992.7.1/八木沢/生?/有(1/4.3/蓋無, 殻皮有), 注1/無  
1992.11.28/相良漁港/生?/有(1/5.5/蓋無, 殻皮有)/無  
1993.12.5/相良漁港/生?/有(1/6.0/蓋無, 殻皮有)/無  
1993.12.12/相良漁港/生/有(1/6.0/蓋無, 殻皮有)/有(生貝1)  
1993.12.17/御前崎/生?/有(1/6.0/蓋無, 殻皮有)/無  
1993.12.25/洗濯岩/生?/有(1/6.0/蓋無, 殻皮有), 注1/有(1個体)  
1994.11.3/相良漁港\*/生/有(1/5.0/蓋無, 殻皮有), 注1/有(生貝1)  
\*もしくは須々木  
1995.4.22/八木沢/生/有(1/5.2/蓋無, 殻皮有), 注1/有(生貝1)



1995.10.7/ 八木沢/ 生? / 有 (1/ 4.5/ 蓋無, 殻皮有) / 無  
 1995.10.22/ 八木沢/ 生/ 無/ 有 (生貝1)  
 1996.10.13/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.0/ 蓋無, 殻皮有) / 有 (生貝2)  
 1996.10.26/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.0/ 蓋無, 殻皮有) / 有 (生貝2)  
 1996.11.9/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.2/ 蓋無, 殻皮有) / 有 (生貝1)  
 1997.4.19/ 八木沢/ 生? / 無/ 有 (1個体)  
 1997.10.10/ 相良漁港/ 生? / 有 (1/ 5.7/ 蓋無, 殻皮有) / 無  
 1997.10.19/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.2/ 蓋無, 殻皮有) / 有 (生貝1)  
 1999.9.17/ 八木沢/ 生? / 有 (1/ 5.5/ 蓋無, 殻皮有), 注1/ 無  
 注1: キラベッコウガイ型。

深場では生存, 磯での個体群については要調査。

*Conus (Virroconus) fulgetrum* Sowerby サヤガタイモ

生息環境: 潮下帯の岩礁。

相模湾での評価: 減少。現在では死殻が採集されるのみ。

原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.: 1977年には西伊豆側で多数生貝, 以降はまれ。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1977.6.25/ 雲見前浜/ 生/ 有 (4/ 2.0-4.0/ 一部蓋有) / 有 (多数)

1981.6.28/ 戸田・八木沢/ ? / 無/ 有 (1個体)

1983.1.18/ 八木沢/ 死/ 有 (1/ 3.3/ 蓋無, 磨耗) / 有 (1個体)

1987.6.27/ 八木沢/ 生? / 有 (1/ 3.5/ 蓋無, 殻皮有) / 有 (1個体)

1988.9.18/ 八木沢/ 死? / 有 (1/ 4.0/ 蓋無, やや磨耗) / 無

1991.12.21/ 御前崎/ 死? / 有 (1/ 2.6/ 蓋無, やや磨耗) / 無無

波部ほか (1986) に記録ないがかつて駿河湾に生存, 減少傾向?

Family Turridae クダマキガイ科

*Tomopleura nivea* (Philippi) マキモノシャジク

生息環境: 水深5-10mの砂底。

相模湾での評価: 消滅寸前。生貝も多く, 打上もあったが1975年以降激減。

原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.: まれに採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1980.3.30/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 1.9/ 蓋無, 保存良) / 無

1981.6.27/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 1.4/ 蓋無, 保存良) / 有 (1個体)

個体群の変動については評価不能だが, 駿河湾でも消滅が危惧される。

*Paradrillia inconstans* (Smith) イボヒメシャジク

生息環境: 水深10mくらいの砂泥底。

相模湾での評価: 減少。現在は激減。

原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.: まれに採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1992.6.6/ 御前崎/ ? / 無/ 有 (1個体)

個体群の変動については評価不能だが, 駿河湾でも消滅が危惧される。

Family Terebridae タケノコガイ科

*Pristiterebra tsuboiana* (Yokoyama) コゲチャタケ

生息環境: 水深10m前後の砂底。

相模湾での評価: 消滅寸前。70年前後まで相当数打上, 現在稀に古い殻が打上。

原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.: 1978-1999年に, 相良側で1個体ずつ採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1978.2.25/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 2.8/ 蓋無, 保存良) / 無

1979.4.1/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (2個体)

1979.5.13/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 5.7/ 蓋無, 保存良) / 無

1979.6.24/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.5/ 蓋有/ 有 (2個体))

1979.6.25/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.7/ 蓋有) / 無

1980.3.8/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (1個体)

1980.3.16/ 相良/ 生? / 有 (1/ 5.3/ 殻口につめもの, 保存良) / 無

1981.7.5/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (幼貝1)

1981.10.25/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 1.8/ 蓋無, 保存良) / 有 (幼貝1)

1995.1.28/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 3.5/ 蓋無, 保存良) / 無

1996.3.23/ 相良漁港/ ? / 有 (1/ 3.3/ 蓋無, 保存良) / 無

1999.9.30/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (小2)

1999.10.29/ 須々木/ ? / 有 (1/ 2.0/ 蓋無, 保存良) / 無  
 減少傾向については判定不能。

*Duplicaria latisulcata* (Yokoyama) ヒロウネトクサ

生息環境: 水深10m前後の砂底。

相模湾での評価: 消滅寸前。最近ではほとんど見られない。

原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録無。

寺田coll.: 記録無。

*Strioterebrum subtexilis* (Smith) シラタケ

生息環境: 水深10-30mの砂底。

相模湾での評価: 消滅寸前。最近では打上破損個体も皆無。

原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.: 記録無。

*Cinguloterebra jeffereysii* (Smith) ツクシタケ

生息環境: 水深5-10mの砂底。

相模湾での評価: 消滅寸前。1975年頃までドレッジで生貝採集。最近見られず。

原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.: 記録無。

*Granuliterebra bathyraphe* (Smith) イボヒメトクサ

生息環境: 水深10m前後の砂底。

相模湾での評価: 消滅寸前。1975年以降激減。

原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.: 記録無。

*Brevimyrella japonica* (Smith) ヒメトクサ

生息環境: 水深5-10mの砂底。

相模湾での評価: 消滅寸前。かつては打上多数, 1970年後半から激減。

原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.: 記録無。

*Hastula rufopunctata* (Smith) シチクガイ

生息環境: 潮下帯から水深10mの砂底。

相模湾での評価: 消滅寸前。最近では古い死殻が打上で見られる程度。

原因: 埋め立てによる潮の流れが変化し, 生息場所が失われた。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.: 1977-1983年にかけて, 相良側で数個体ずつ採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1977.2.20/ 相良漁港/ 生? / 無/ 有 (3個体) 注1

1977.2.27/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (1個体) 注1

1977.7.31/ 洗濯岩/ ? / 有 (1/ 2.0/ 蓋無, 保存良) / 無

1977.11.16/ 洗濯岩/ ? / 有 (1/ 2.7/ 蓋無, 保存良) / 無

1978.4.2/ 洗濯岩/ ?/ 有 (1/ 2.5/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1980.6.8/ 相良海岸/ ?/ 無/ 有  
 1981.5.5/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (完全1)  
 1981.5.28/ 相良/ ?/ 有 (1/ 2.5/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1982.11.7/ 地頭方港/ ?/ 有 (1/ 1.8/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1982.11.28/ 地頭方港/ ?/ 有 (1/ 2.2/ 蓋無, 保存良) / 無  
 1983.10.30/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (1個体)

注1: ヒトデロ腔より  
 減少傾向については判定不能。

#### Family Pyramidellidae トウガタガイ科

##### *Monotyga eximia* (Lischke) ヒメゴウナ

生息環境: 潮下帯から水深6mの泥底・砂底。  
 相模湾での評価: 消滅寸前。減少し始めた年代は不明。近年採集記録なし。  
 原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録無。  
 寺田coll.: まれに採集。1977, 1980年に生貝を確認。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1977.3.20/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 1.5/ 蓋無, 保存良) / 有 (2個体) 注1  
 1980.1.6/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 1.5/ 蓋無, 保存良) / 有 (生貝1)  
 注1: ヒトデロ腔中より  
 減少傾向については評価困難。採集方法の偏りによる。

##### *Orinella pulchella* (A. Adams) クチキレガイ

生息環境: 潮下帯から水深10mの砂底。  
 相模湾での評価: 減少。砂浜にかつては多く見られた。  
 原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.: 1977年に生貝を確認。まれ。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1977.2.20/ 相良漁港/ 生/ 有 (4/ 0.4-0.8/ 蓋無, 保存良) / 有 (多数) 注1  
 注1: ヒトデロ腔中より  
 減少傾向については評価困難。採集方法の偏りによる。

#### Family Acteonidae オオシノミガイ科

##### *Acteon siebaldi* (Reeve) オオシノミガイ

生息環境: 水深10mの砂底。  
 相模湾での評価: 消滅寸前。かつてはいつでも採集。最近では年間1~2個程度。  
 原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録無。  
 寺田coll.: まれ。1977, 1996年に生貝を確認。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1977.3.6/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 1.4/ 蓋無, 保存良) / 有, 注1  
 1996.11.23/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 0.8/ 蓋無, 保存良) / 有 (幼貝1)  
 注1: ヒトデロ腔中より  
 減少傾向については評価困難。採集方法の偏りによる。

##### *Pupa strigosa strigosa* (Gould) コシノミガイ

生息環境: 潮下帯から水深10mの砂底。  
 相模湾での評価: 消滅寸前。最近では極希。  
 原因: 言及なし。

駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.: ごくまれに採集される。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1999.10.29/ 須々木/ ?/ 有 (1/ 0.8/ 蓋無, 保存良) / 有 (1個体)

#### Family Ellobiidae オカミミガイ科

##### *Melampus nuxeastaneus* Kuroda ハマシノミガイ

生息環境: 潮上帯の岩礁。  
 相模湾での評価: 消滅寸前。現在生息が確認されることは極希。  
 原因: 言及なし。  
 駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.: ごくまれに死殻とおもわれる個体が採集されるのみ。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1981.6.28/ 戸田・八木沢/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
 1999.2.6/ 洗濯岩/ 死?/ 有 (1/ 1.4/ 蓋無, 保存悪) / 無  
 生存について現地での調査が臨まれる。消滅が危惧される。

#### 二枚貝類

#### Family Nuculanidae ロウバイ科

##### *Jupiteria (Saccella) confusa* (Hanley) ゲンロクソデガイ

生息環境: 水深10m前後の砂底。  
 相模湾での評価: 消滅寸前。  
 原因: 明確な要因は不明。河川からの汚染物質や砂泥化の影響か?  
 駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.: ごくまれに死殻とおもわれる個体が採集されるのみ。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1981.1.24/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (破片1)  
 駿河湾でも消滅寸前か?

#### Family Glycymerididae タマキガイ科

##### *Glycymeris (Veletuceta) albolineata* (Lischke) ベンケイガイ

生息環境: 水深5-10mの砂底。  
 相模湾での評価: 減少。1970年後半から減少。  
 原因: 言及なし。  
 駿河湾での状況: 波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.: 1977-1998年に、数個体ずつ。1982年以降、生貝の記録なし。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1977.2.27/ 相良漁港/ 死/ 有 (1/ 3.2/ 合殻, 殻皮有) / 有 (死殻1)  
 1977.10/ 30/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
 1978.11.26/ 洗濯岩/ 生/ 有 (1/ 8.0/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1979.1.21/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 4.3/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1979.2.5/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.7/ 合殻, 殻皮有) / 有 (中型1)  
 1979.2.11/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
 1979.2.18/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 2.2/ 合殻, 殻皮有) / 有 (幼貝1)  
 1979.3.25/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
 1979.12.22/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 4.0, 6.5/ 合殻, 殻皮有) / 有 (3個体)  
 1980.1.20/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
 1980.1.26/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 3.8/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1980.11.26/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
 1980.12.14/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 5.8, 8.5/ 合殻, 殻皮有) / 有 (3個体)  
 1981.7.5/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 2.8, 4.0/ 合殻, 殻皮有) / 有 (幼貝1)  
 1982.8.1/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (稚貝1)  
 1991.9.22/ 八木沢/ ?/ 無/ 有 (2個体)  
 1992.7.2/ 八木沢/ 死/ 無/ 有 (破片1個体)  
 1996.2.24/ 相良漁港/ ?/ 有 (1/ 5.5/ 離殻, 殻皮有) / 無  
 1998.3.22/ 相良/ ?/ 無/ 有 (稚貝1)  
 1990年代に減少傾向か? 要調査。

#### Family Mytilidae イガイ科

##### *Mytilus coruscus* Gould イガイ

生息環境: 水深5-20mの岩礁。

相模湾での評価：消滅寸前。1968年頃より激減。  
原因：不明。ムラサキイガイとの競合ではない。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：採集ノートの記録のみ、まれ。  
採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載  
1990.10.27/ 御前崎/ ?/ 無/ 有（2個体）  
駿河湾でも消滅寸前か？ 現地調査の必要あり。

#### *Trichomya hirsuta* (Lamarck) ケガイ

生息環境：潮間帯の岩礁。

相模湾での評価：消滅寸前。1960年代は多からず観察。最近は数年に1度程度。  
原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1978—1999年に、相良側で1個体ずつ採集。1983年以降はまれ。  
採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載  
1978.10.23/ 洗濯岩/ 生?/ 有（1/ 3.8/ 合殻、殻皮有）/ 無  
1981.9.20/ 洗濯岩/ 生?/ 有（1/ 3.8/ 合殻、殻皮有）/ 有（1個体）  
1983.11.27/ 地頭方港/ 生?/ 有（1/ 3.2/ 合殻、殻皮有）/ 無  
1999.10.29/ 御前崎/ ?/ 有（1/ 4.7/ 離殻、殻皮有）/ 無  
潮間帯岩礁での生息個体群の再調査が必要。

#### Family Pectinidae イタヤガイ科

##### *Chlamys (Laevichlamys) irregularis* (Sowerby) ナデシコガイ

生息環境：潮間帯から水深20mの岩礁。

相模湾での評価：減少。過去打上では目立つ種であった。

\*最近ではアズマニシキ*Chlamys farreri nipponensis* (Kuroda)の方が優占。

原因：水質の富栄養化が原因のひとつと考えられる。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有

寺田coll.：1977—1980、1997年に、相良側・西伊豆側で生貝確認。  
採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載  
1977.4.17/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（幼貝1）  
1977.6.25/ 雲見/ 生/ 有（1/ 1.8/ 合殻）/ 無  
1979.1.14/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（1個体）  
1979.2.10/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 2.0/ 合殻）/ 無  
1979.3.18/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 1.8/ 合殻）/ 有（1個体）  
1979.4.14/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 1.7/ 合殻）/ 有（2個体）  
1979.11.24/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 3.5/ 合殻）/ 有（1個体）  
1980.9.15/ 土肥/ 生/ 有（1/ 2.2/ 合殻）/ 有（1個体）  
1981.9.20/ 洗濯岩/ ?/ 有（1/ 1.0/ 離殻、保存良好）/ 無  
1981.10.11/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（稚貝1）  
1990.2.25/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（1個体）  
1990.3.3/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（大1）  
1990.3.3/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（小1）  
1991.4.13/ 吉田港/ ?/ 無/ 有（2個体）  
1997.4.26/ 相良/ ?/ 無/ 有（1個体）  
1997.9.27/ 相良/ 生/ 有（1/ 4.7/ 合殻）/ 有（生貝大1）  
1997.10.4/ 八木沢/ ?/ 無/ 有（大1）  
1997.10.8/ 八木沢/ 生/ 有（1/ 4.2/ 合殻）/ 無  
減少傾向については判定不能。

#### Family Ostreidae イタボガキ科

##### *Ostrea densamellosa* Lischke イタボガキ

生息環境：水深5—20mの砂泥の礫。

相模湾での評価：消滅。1970年頃すでに生息が確認されない。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1998/ 2/ 7御前崎での採集個体（稚生貝）はイワガキと判明。

駿河湾でも消滅か？ 現地調査の必要あり。

#### Family Lucinidae ツキガイ科

##### *Lucinoma annulatum* (Reeve) ツキガイモドキ

生息環境：潮下帯から水深30mの砂泥底。

相模湾での評価：消滅。1980年以降生貝の記録なし。

原因：著しい汚染。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：記録無。

##### *Anodontia stearnsiana* Oyama イセシラガイ

生息環境：潮下帯から水深20mの砂泥底。

相模湾での評価：消滅。細谷（1954）は生貝を記録。

原因：粘土質の環境の減少。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：記録無。

#### Family Galeommatidae ウロコガイ科

##### *Pseudogaleomma japonica* (A. Adams) ニッポンマメアゲマキ

生息環境：潮間帯の砂泥底にある転石裏。

相模湾での評価：消滅。

原因：干潟環境の減少。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録無。

寺田coll.：記録無。

#### Family Cardiidae ザルガイ科

##### *Vasticardium arenicola* (Reeve) キヌザル

生息環境：水深10—30mの砂底。

相模湾での評価：減少。1985年から激減。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1979—1994年に、相良でしばしば生貝を確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載  
1979.3.18/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 4.0/ 合殻）/ 有（生貝1）  
1979.3.25/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有  
1979.12.16/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 4.5/ 合殻）/ 有（1個体）  
1983.5.12/ 相良漁港/ 死/ 無/ 有（破片1）  
1990.9.22/ 相良/ 生/ 有（1/ 4.5/ 合殻）/ 有（1個体）  
1994.10.1/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 3.8/ 合殻）/ 有（1個体）  
減少傾向については判定不能。

#### Family Macluridae バカガイ科

##### *Coelomastra antiquata* (Spengler) アリソガイ

生息環境：水深5—10mの砂底。

相模湾での評価：消滅寸前。1975年頃からは急速に見られなくなった。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。

寺田coll.：1979—1995年にかけて、相良側で生貝を確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本（数/ 殻長（cm）/ 状態）/ ノート記載  
1980.5.18/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 11.5/ 合殻、殻皮有）/ 有（1個体）  
1980.11.30/ 相良漁港/ 生/ 無/ 有（生貝1）  
1981.6.27/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 8.2/ 合殻、殻皮有）/ 有（生貝1）  
1992.11.28/ 相良漁港/ 生/ 有（1/ 5.5/ 合殻、殻皮有）/ 無  
1993.2.7/ 相良漁港/ 生/ 有（3/ 5/ 8—12.0/ 合殻、殻皮有）/ 有（幼1, 大2）  
1995.4.16/ 相良漁港/ 生/ 有（2/ 10.0, 11.3/ 合殻、殻皮有）/ 無  
1998.11.29/ 須々木/ ?/ 無/ 有（1個体）  
1998.12.23/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有（1個体）  
個体群の規模は不明だが、生存の可能性は高い。

*Tresus keenae* (Kuroda and Habe) ミルクイ

生息環境：潮下帯から水深10mの礫泥底。

相模湾での評価：消滅寸前。1970年頃まで見られたが、最近ほとんど記録なし。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：記録無。

*Lutraria sieboldii* Deshayes ヒラカモジガイ

生息環境：水深5-20mの砂泥底。

相模湾での評価：減少。1980年頃より激減。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無

寺田coll.：1978-1998年に、相良漁港を中心に生貝を確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1978.2.12/ 相良漁港/ 生/ 有 (3/ 4.8-7.4/ 合殻, 殻皮有) / 無

1978.3.5/ ?/ 生/ 有 (1/ 4.8/ 合殻, 殻皮有) / 無

1980.3.30/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.4/ 合殻, 殻皮有) / 無

1981.5.17/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.3/ 合殻, 殻皮有) / 無

1983.2.6/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.2/ 合殻, 殻皮有) / 有 (1個体)

1983.3.26/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.3/ 合殻, 殻皮有) / 無

1991.9.22/ 八木沢/ 生/ 有 (1/ 7.0/ 合殻, 殻皮有) / 無

1996.1.20/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.5/ 合殻, 殻皮有) / 有 (1個体)

1996.2.17/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 合殻, 殻皮有) / 有 (1個体)

1996.3.2/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 4.7, 5.0/ 合殻, 殻皮有) / 有 (生貝1)

1996.4.27/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.3/ 合殻, 殻皮有) / 有 (1個体)

1997.2.11/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 合殻, 殻皮有) / 無

1997.3.1/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.4/ 合殻, 殻皮有) / 有 (1個体)

1997.3.9/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 7.3/ 合殻, 殻皮有) / 有 (1個体)

1997.3.29/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.0/ 合殻, 殻皮有) / 無

1997.12.21/ 相良/ 生/ 有 (1/ 7.5/ 合殻, 殻皮有) / 無

1998.2.21/ 相良/ 生/ 有 (1/ 6.0/ 合殻, 殻皮有) / 有 (1個体)

1998.4.4/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 3.8/ 合殻, 殻皮有) / 有

減少傾向については判定不能。オオトリガイの若貝との区別が困難。

*Meropesta nicobarica* (Gmelin) ユキガイ

生息環境：潮下帯から水深5mの砂泥底。

相模湾での評価：消滅。1960年前半に新鮮な死殻採集。昭和初期まで生息と推測。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：記録無。

## Family Mesodesmatidae チドリマスオガイ科

*Coecella chinensis* Deshayes クチバガイ

生息環境：潮間帯の砂礫底。

相模湾での評価：減少。

原因：河川開発による干潟環境の変化。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：記録無。

## Family Donacidae フジノハナガイ科

*Latona cuneata* (Linnaeus) ナミノコガイ

生息環境：潮間帯の砂底。

相模湾での評価：消滅寸前。

原因：不明。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：記録無。

## Family Tellinidae ニッコウガイ科

*Pharaonella sieboldii* (Deshayes) ベニガイ

生息環境：潮間帯から水深20mの砂底。

相模湾での評価：消滅寸前。昭和初期に多産。現在稀に片殻が打上。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：記録無。

*Pistris capsoides* (Lamarck) イチョウシラトリガイ

生息環境：潮間帯の泥底。

相模湾での評価：消滅。

原因：埋め立てによる生息場の消滅。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。

寺田coll.：採集ノートの記録のみ。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1979.12.22/ 洗濯岩/ ?/ 無/ 有 (2個体)

1980.10.15/ 地頭方港/ ?/ 無/ 有 (5個体)

1994.4.16/ 八木沢/ ?/ 無/ 有 (1個体)

*Nitidotellina hokkaidoensis* Habe サクラガイ

生息環境：潮下帯から水深15mの砂底。

相模湾での評価：減少。1960年代には大量打上。近年激減。

原因：不明。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：1980-1998年に、相良側で少数個体採集。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1980.5.18/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 2.0/ 合殻) / 有 (破片1)

1980.8.31/ 相良漁港/ 死/ 有 (1/ 2.0/ 離殻, 保存良) / 無

1981.4.26/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 1.8/ 合殻) / 有 (1個体)

1981.7.5/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 1.2/ 合殻) / 有 (1個体)

1983.4.3/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)

1983.4.9/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 1.5/ 合殻) / 無

1986.4.13/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 2.2/ 合殻) / 無

1995.2.11/ 相良/ 生?/ 有 (1/ 1.0/ 合殻) / 無

1995.11.23/ 須々木/ 生?/ 有 (2/ 1.0, 1.1/ 合殻) / 無

1997.2.11/ 相良漁港/ 生?/ 有 (2/ 1.8/ 合殻) / 無

1998.2.7/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 2.0/ 合殻) / 無

1998.4.18/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 1.8/ 合殻) / 無

過去に比べてまれであることは事実。生存については要確認。

*Nitidotellina iridella* (Martens) カバザクラガイ

生息環境：水深5-10mの砂底。

相模湾での評価：減少。1960年代には大量打上。近年激減。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。

寺田coll.：採集ノートの記録のみ。まれ。1998年に生貝を確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1998.2.7/ 相良/ ?/ 無/ 有 (1個体)

1998.4.18/ 相良/ ?/ 無/ 有 (生貝1)

現地調査の必要あり。

*Moerella jedoensis* (Lischke) モモノハナガイ

生息環境：水深5-10mの砂底。

相模湾での評価：減少。1960年代には大量打上。近年激減。

原因：言及なし。

駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。

寺田coll.：1979-2000年に相良側で少数採集。1995年に生貝を確認。

採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載

1979.8.12/ 相良漁港/ 生?/ 有 (1/ 0.7/ 合殻) / 無

1979.11.4/ 相良/ 生? / 有 (2/ 1.5, 1.6/ 合殻) / 無  
 1981.5.23/ 相良漁港/ 生? / 有 (1/ 1.0/ 合殻) / 無  
 1985.2.10/ 吉田港/ 死/ 有 (1/ 1.0/ 離殻, 保存良) / 無  
 1986.4.13/ 相良/ 生? / 有 (1/ 0.9/ 合殻) / 無  
 1989.3.11/ 相良漁港/ ? / 無/ 有 (浅場)  
 1989.3.19/ 相良/ 生? / 有 (3/ 0.7-1.0/ 合殻) / 無  
 1992.2.15/ 相良漁港/ 死/ 有 (1/ 1.3/ 離殻, 保存良) / 無  
 1994.2.18/ 相良漁港/ 生? / 有 (2/ 1.5, 1.7/ 合殻) / 無  
 1994.3.5/ 相良漁港/ 生? / 有 (1/ 1.0/ 合殻) / 無  
 1995.1.21/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 1.4/ 合殻) / 有 (生貝1)  
 1995.11.27/ 相良漁港/ 生? / 有 (1/ 1.4/ 合殻) / 有 (1個体)  
 2000.1.10/ 相良漁港/ 死/ 有 (3/ 1.3-1.6/ 合殻) / 有 (死殻3)  
 2000.1.29/ 相良漁港/ 死/ 無/ 有 (死殻3)  
 過去に比べてまれであることは事実。

**Moerella rutila (Dunker)** ユウシオガイ

生息環境：潮間帯から水深5mの砂泥底。  
 相模湾での評価：消滅。河川改修工事以前三浦半島のいくつかの河口域で確認。  
 原因：干潟環境の変質。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：記録無。

**Macoma contabulata (Deshayes)** サビシラトリ

生息環境：潮間帯から内湾砂泥底。湾奥部。  
 相模湾での評価：消滅。江奈湾では1980年以降生貝採集なし。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。  
 寺田coll.：採集記録ノートの記載のみ、1990年代にまれに採集？  
 標本確認できず。シラトリモドキ *Hetromacoma irus* (Hanley) を誤同定？  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1991.9.21/ 洗濯岩/ ? / 無/ 有 (2個体)  
 1991.11.10/ 洗濯岩/ 生/ 無/ 有 (生貝1)  
 1992.7.2/ 八木沢/ ? / 無/ 有 (1個体)  
 1992.11.28/ 洗濯岩/ ? / 無/ 有 (3個体)  
 1992.12.23/ 洗濯岩/ ? / 無/ 有 (1個体)  
 1995.9.23/ 八木沢/ 生/ 無/ 有 (生貝3)  
 1996.9.21/ 八木沢/ ? / 無/ 有 (4個体)

## Family Psammobiidae シオサザナミガイ科

**Soletellina boeddinghausi** Lischke フジナミガイ

生息環境：潮下帯から水深20mの砂底。  
 相模湾での評価：消滅。かつて普通。最近片殻が稀に採集。ここ20年間生貝無。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：記録無。

**Nuttallia japonica** (Reeve) イソシジミ

生息環境：潮間帯から水深10mの内湾砂泥底。  
 相模湾での評価：消滅寸前。1975年以降激減。最近ほとんどみられない。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：記録無。

**Nuttallia obscurata** (Reeve) ワスレイソシジミ

生息環境：潮下帯から水深10mの砂底。  
 相模湾での評価：消滅寸前。古い死殻が台風のときに打ち上げられる。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。  
 寺田coll.：記録無。

## Family Solenidae マテガイ科

**Solen kurodai** Habe ダンダラマテガイ

生息環境：比較的外洋水の影響のある潮下帯から水深10mの砂底。  
 相模湾での評価：減少。1970年代後半より激減。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：記録無。

## Family Cultellidae ユキノアシタガイ科

**Ensiculus cultellus** (Linnaeus) タカノハガイ

生息環境：水深10m前後の砂底。  
 相模湾での評価：消滅寸前。1980年頃より激減。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：記録無。

## Family Trapezidae フナガタガイ科

**Trapezium sublaevigatum** (Lamarck) タガソデモドキ

生息環境：汽水域の潮間帯岩礁。  
 相模湾での評価：消滅寸前。  
 原因：河口部の護岸工事。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。  
 寺田coll.：記録無。

**Trapezium liratum** (Reeve) ウネナシトマヤガイ

生息環境：汽水域の潮間帯岩礁。  
 相模湾での評価：消滅。1971年唯一の生貝記録がある。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：採集ノートの記録のみ、同定に疑問？  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1992.7.4/ 御前崎/ ? / 無/ 有 (1個体)  
 評価不能。駿河湾内の汽水域の潮間帯岩礁を調査する必要あり。

## Family Veneridae マスルダレガイ科

**Circe (Circe) scripta** (Linnaeus) シラオガイ

生息環境：内湾ぎみの潮間帯小石混じりの砂泥底。  
 相模湾での評価：消滅。死殻の打上は認められる。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：採集ノートの記録のみ、1997年に生貝を確認。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1996.11.2/ 八木沢/ ? / 無/ 有 (3個体)  
 1997.10.4/ 八木沢/ 生/ 無/ 有 (生貝1)  
 消滅寸前？ 八木沢での現地調査が望まれる。

**Dosinorbis bilunulatus** (Gray) ヒナガイ

生息環境：水深5-10mの砂底。  
 相模湾での評価：減少。1970年後半のベンケイガイとほぼ同時期に減少。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：1976年多数、1977-1998年に少数の生貝を相良側で採集。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1976.12.19/ 相良漁港/ 生/ 無/ 有 (多数)  
 1977.11.30/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 3.5/ 合殻) / 無  
 1977.12.15/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 4.4/ 合殻) / 無

1978.2.12/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 2.2, 2.8/ 合殻) / 無  
 1978.2.25/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.4/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1978.11.19/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 4.2, 5.0/ 合殻, 1つは殻皮有) / 無  
 1978.12.30/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.5/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1979.12.9/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 6.3/ 合殻) / 無  
 1979.12.27/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.7/ 合殻) / 有 (6個体)  
 1980.11.23/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 2.8, 3.2/ 合殻, 1つは殻皮有) / 無  
 1980.12.14/ 相良漁港/ 生/ 有 (6/ 2.5-4.0/ 合殻) / 有  
 1986.4.13/ 相良/ 生/ 有 (1/ 8.0/ 合殻) / 無  
 1992.11.21/ 須々木/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
 1995.3.18/ 須々木/ ?/ 無/ 有 (白色1)  
 1997.10.19/ 須々木/ 生/ 有 (1/ 5.3/ 合殻) / 有 (生貝1)  
 1997.11.3/ 須々木/ 生/ 有 (1/ 6.0/ 合殻) / 有 (1個体)  
 1998.2.21/ 相良/ ?/ 無/ 有 (稚貝1)  
 1998.11.29/ 須々木/ ?/ 無/ 有 (1個体)

*Dosinella angulosa* (Philippi) ウラカミガイ

生息環境：内湾の潮間帯から水深10mの泥底。  
 相模湾での評価：消滅寸前。  
 原因：1975年以降ほとんど記録なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：記録無。

*Ruditapes variegatus* (Sowerby) ヒメアサリ

生息環境：潮間帯から水深10mの砂礫底。  
 相模湾での評価：減少。1970年頃より激減。  
 原因：相模湾の富栄養化。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：記録無。

*Gomphina melanegis* Römer コタマガイ

生息環境：潮下帯から水深10mの砂底。  
 相模湾での評価：消滅寸前。1960年代前半多産。1970年代より激減。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。  
 寺田coll.：1976年に生貝が採取されているが以後記録なし。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1976.6.6/ 千浜 (浜岡の西) / 生/ 有 (1/ 6.3/ 合殻, 殻皮有) / 無

*Cyclosunetta menstrualis* (Menke) ワスレガイ

生息環境：潮下帯から水深50mの砂底。  
 相模湾での評価：減少。1970年代後半より激減。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾の状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：1976-1993年に、相良側で少数の生貝を採集。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1976.6.6/ 千浜 (浜岡の西) / 生/ (5/ 2.6-7.6/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1978.2.12/ 相良漁港/ ?/ 無/ 有 (1個体)  
 1978.11.5/ 相良/ 生/ 有 (1/ 7.9/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1978.11.5/ 地頭方港/ ?/ 無/ 有 (2個体)  
 1978.11.12/ 洗濯岩/ 生/ 有 (1/ 6.8/ 合殻, 殻皮有) / 有 (2個体)  
 1979.4.1/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 7.0/ 合殻) / 無  
 1980.4.26/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.2/ 合殻) / 有 (1個体)  
 1981.12.26/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 7.3/ 合殻, 殻皮有) / 有 (1個体)  
 1984.2.5/ 吉田港/ 生/ 有 (2/ 6.8, 6.9/ 合殻, 殻皮有) / 有 (生貝4)  
 1984.12.30/ 用宗漁港/ 生/ 有 (1/ 7.0/ 合殻) / 無  
 1990.2.17/ 吉田港\*/ 生/ 有 (1/ 8.2/ 合殻, 殻皮有) / 有 (生貝1)  
 \*水深50m  
 1990.9.29/ 御前崎/ 死?/ 有 (1/ 2.9/ 合殻, やや磨耗) / 有 (稚貝1)  
 1993.2.7/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 5.5/ 合殻, 殻皮有) / 無

減少傾向については判定不能, 1990年代後半以降, 採集されていない。

*Meretrix lusoria* (Röding) ハマグリ

生息環境：潮間帯から水深15mの砂泥底。  
 相模湾での評価：消滅。1974年以降採集された記録はない。  
 原因：採集匠, 干潟減少, 河口護岸。シナハマグリとの遺伝子交雑。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：まれに記録があるが, 食用のものかも知れない。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1990.9.8/ 相良/ 生?/ 有 (1/ 5.5/ 合殻, 殻皮有) / 有 (1個体)  
 1992.5.31/ ?/ ?/ 無/ 有 (2個体) 購入  
 消滅が危惧される。

*Meretrix lamarckii* Deshayes チョウセンハマグリ

生息環境：潮下帯から水深10mの砂底。  
 相模湾での評価：減少。1978年頃より激減。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：1976-1999年に、相良側で少数個体採集。  
 採集日/ 場所/ 生死/ 収蔵標本 (数/ 殻長 (cm) / 状態) / ノート記載  
 1974.3.5/ 御前崎/ 生?/ 有 (1/ 2.0/ 合殻) / 無  
 1976.6.6/ 千浜 (浜岡の西) / 生?/ 有 (1/ 7.4/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1979.4.7/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 2.8/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1980.7.12/ 相良漁港/ 生/ 有 (1/ 4.5/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1992.4.16/ 相良港/ 生/ 有 (2/ 7.5, 7.6/ 合殻, 殻皮有) / 有 (3個体)  
 1994.1.15/ 洗濯岩/ 生?/ 有 (1/ 2.8/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1998.5.9/ 相良漁港/ 生/ 有 (2/ 8.5, 9.5/ 合殻, 殻皮有) / 無  
 1999.2.6/ 洗濯岩/ 生?/ 有 (1/ 2.6/ 合殻, 殻皮有) / 有 (幼貝1)  
 減少傾向については判定不能。

*Cyclina sinensis* (Gmelin) オキシジミ

生息環境：潮間帯から水深10mの内湾砂泥底。  
 相模湾での評価：消滅。1970年後半より激減, その後消滅。  
 原因：言及なし。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：記録無。

Family Glauconomidae ハナグモリ科

*Glauconome chinensis* Gray ハナグモリ

生息環境：潮間帯の砂泥底。  
 相模湾での評価：消滅。  
 原因：宮田湾の生息地は埋め立てによって失われた。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録無。  
 寺田coll.：記録無。

Family Myidae オオノガイ科

*Mya (Arenomya) arenaria oonogai* Makiyama オオノガイ

生息環境：潮間帯の砂泥底。  
 相模湾での評価：消滅寸前。  
 原因：泥干潟が激減。  
 駿河湾での状況：波部ほか (1986) に記録有。  
 寺田coll.：記録無。

Family Laternulidae オキナガイ科

*Laternula boschasina* (Reeve) コオキナガイ

生息環境：潮間帯の砂泥・泥底。  
 相模湾での評価：消滅。

原因：干潟の砂泥・泥底の減少，底質の変化。  
駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録無。  
寺田coll.：記録無。

*Laternula (Exolaternula) marilina* (Reeve) ソトオリガイ

生息環境：潮間帯の砂泥底。  
相模湾での評価：消滅寸前。ほとんど見られない。  
原因：干潟の減少。  
駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。  
寺田coll.：記録無。

**掘足類**

Family Dentaliidae ツノガイ科

*Dentalium (Paradentalium) octangulatum* Donovan ヤカドツノガイ

生息環境：水深5-10mの砂底。  
相模湾での評価：減少。かつて打上多数（1970年頃生貝普通），現在激減。  
原因：言及なし。  
駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。  
寺田coll.：記録無。

Family Gadiliniidae シラサヤツノガイ科

*Episiphon subrectum* (Jeffreys) ロウソクツノガイ

生息環境：潮間帯から水深30mの砂泥底。  
相模湾での評価：減少。ドレッジで生貝採集可。  
原因：言及なし。  
駿河湾での状況：波部ほか（1986）に記録有。  
寺田coll.：記録無。

## 引用文献

- 波部忠重・久保田正・川上 東・増田 修 (1986), 駿河湾産有殻軟体動物目録. 東海大学自然史博物館研究報告, **1**, 1-44.
- 堀口敏宏 (1998), インボセックスー巻貝類における雌の雄化現象. 海洋と生物, **117**, 283-288.
- 細谷角次郎 (1954), 相模湾産貝類絵図. 自費出版, 72p.
- 池田 等・倉持卓司・渡辺政美 (2001), 相模湾レッドデータ: 貝類. 葉山しおさい博物館, 葉山町, 104p.
- 石山尚珍 (1966), 東京近海の現生貝類調査. 地質調査所月報, **18**, 223-238.
- 鹿児島県環境生活部環境保護課 (2003), 鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物: 鹿児島県レッドデータブック. 財団法人鹿児島県環境技術協会, 鹿児島市, 642p.+ 49pls.
- 黒住耐二 (1998), 日本における絶滅の危機に瀕する海産貝類. 海洋と生物, **114**, 21-26.
- 日本水産資源保護協会 (1995), 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (II). 日本水産資源保護協会, 東京, 131p.
- 日本水産資源保護協会 (1996), 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (III). 日本水産資源保護協会, 東京, 90p.
- 日本水産資源保護協会 (1997), 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (IV). 日本水産資源保護協会, 東京, 126p.
- 大山 桂 (1943), 駿河湾産軟体動物目録. 資源科学研究所彙報, **2**, 3-47.
- 佐藤慎一 (2002), 大規模干拓堤防建設に伴う貝類群集の変化. 日本ベントス学会誌, **57**, 106-118.
- 水産庁・日本水産資源保護協会 (1994), 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (I). 水産庁・日本水産資源保護協会, 東京, 123p.
- 寺田 徹 (1994), 駿河湾の貝. 自費出版, 105p.
- Tsuchi R. (1956), The palaeo-ecological analysis of the molluscan remains dredged from Orido Bay in Shimizu Harbor, the Pacific coast of Japan. *Reports of the Liberal Arts Faculty, Shizuoka University, Natural Science*, **9**, 45-56.
- Tsuchi R. (1958), A note on mollusca dredged from Suruga Bay, the Pacific side of central Japan. *Reports of Liberal Arts and Science Faculty, Shizuoka University, Natural Science*, **2**, 69-76.
- Tsuchi R. (1959), Molluscs and shell-remains in Arari Bay and Heta Bay, the west coast of the Izu Peninsula. *Reports of Liberal Arts and Science Faculty, Shizuoka University, Natural Science*, **2**, 217-228.
- Tsuchi R. (1960), Molluscs and shell-remains in the vicinity off the mouth of the Oi River in the Gulf of Suruga, central Japan. (Studies on submarine bio- & thanatocoenose of Mollusca-3). *Reports of Liberal Arts and Science Faculty, Shizuoka University, Natural Science*, **3**, 71-76.
- 土 隆一 (1965), 駿河湾“田子の浦”の貝類群. *Venus*, **24**, 210-214.
- Tsuchi R. (1966), Molluscs and shell-remains from Tago-no-ura, Suruga Bay, Pacific coast of central Japan. *Reports of the Faculty of Science, Shizuoka University*, **1**, 101-106.
- 和田恵次・西平守孝・風呂田利夫・野島 哲・山西良平・西川輝昭・五嶋聖治・鈴木孝夫・加藤 真・島村賢正・福田 宏 (1996), 日本の干潟環境とそこに生息する底生生物の現状. *WWF Japan Science Report*, **3**, 181p.